



—保健主事実践事例集—
保健主事のためのマネジメント事例集

財団法人 日本学校保健会

ま え が き

近年、社会状況等の変化に伴い、子どもたちの生活習慣の乱れ、メンタルヘルスに関する課題、アレルギー疾患、性の問題行動や薬物乱用、感染症など、様々な課題が生じています。このような現代的な健康課題の解決を図るためには、健康に関する課題を単に個人的な課題とするのではなく、学校、家庭、地域社会が連携して、社会全体で子どもの健康づくりに取り組んでいくことが必要であり、学校においては、地域の実情に即しつつ、家庭や地域の関係機関などと適切な役割分担の下に、相互に連携を深めながら子どもの心身の健康の保持増進を目指す学校保健を推進することが求められています。

このような中、保健主事には、学校保健と学校全体の活動に関する調整や学校保健計画の作成、学校保健に関する組織活動の推進（学校保健委員会の運営）など学校保健に関する事項の管理に当たる職員として果たすべき役割が期待されています。そのため、保健主事の役割に関する基本的な理解や学校保健を推進するための効果的なマネジメントなど、保健主事が学校保健に関する活動の調整に当たる教員として実務を行う際に参考となる「保健主事のための実務ハンドブック」（文部科学省、平成22年3月）が刊行されたところです。

本書は、一保健主事が学校現場において実務を遂行する立場に視点をおいて、実践事例集として保健主事の動きが見えるような内容となっています。各学校の保健主事が、本書を参考にして資質向上を図るとともに、すべての教職員が学校保健活動に関心を持ち、それぞれの役割を円滑に遂行し、学校保健の一層の推進につながることを念願しています。

末尾となりましたが、本事例集の作成に当たりご尽力いただきました保健主事実践事例集作成委員会の委員、事例作成にご協力いただきました教育委員会及び学校など関係の皆様には深甚なる謝意を表します。

平成24年3月

財団法人 日本学校保健会
会 長 原 中 勝 征

保健主事実践事例集

保健主事のためのマネジメント事例集

目 次

保健主事になったら	1
1年間を見通して校内体制を整える（小学校） （全校体制で学校保健推進に取り組んだ事例）	11
【コラム：まねじめんと－1】「もしドラ」から学ぶ保健主事のマネジメント	15
事前調査と準備から学校保健活動を充実（特別支援学校） （よりニーズに合った学校保健活動をめざしアンケート調査に取り組んだ事例）	17
【コラム：まねじめんと－2】計画の前の段階：スタートが肝心！	21
教職員との協働で学校保健活動を充実（中学校） （専門家を活用した事業を通して課題にせまった事例）	23
適確な情報提供で保健管理を充実（高等学校） （身近な学習環境の維持・管理から教職員の意識改革へ働きかけた事例）	29
緊急時に備えたりーダーシップの発揮（小学校） （熱中症への対応策を実践した事例）	33
組織活動を重視した感染症対策の実践（中学校） （校内組織を見直し取り組んだ保健管理の事例）	35
学校保健委員会の活性化を図る（小学校） （企画立案から保護者が参加して開催した学校保健委員会の事例）	39
【コラム：まねじめんと－3】「人は最大の資産である」を基本にして	43
地域学校保健委員会を開催しよう （中学校区内の学校で歯科保健活動に取り組んだ事例）	45
【コラム：まねじめんと－4】学校保健活動に「イノベーション」	50
生徒をやる気にさせて一歩前進（高等学校） （生徒保健委員会の活性化を目指して取り組んだ事例）	51
【コラム：まねじめんと－5】「マーケティング＝交換」の重要性	55

効果的な保健部会の運営（高等学校） （予防接種の実施率を上げた保健部の取組）	57
課題の解決に向けた校内研修会の開催（小学校） （心の健康をテーマに取り組んだ拡大校内研修会の事例）	61
目標を達成させるための学校保健活動の評価（特別支援学校） （歯科保健活動に重点を置いて取り組んだ事例）	67
学校保健活動の充実につなげる保健主事の自己評価（中学校） （保健主事の実務を評価し学校保健活動の改善に取り組んだ事例）	71
【コラム：まねじめんと－6】「自己目標管理」のころ	79
保健主事実践事例集作成委員会名簿（平成22年度～23年度）	80

保健主事になったら

1 保健主事の一年間

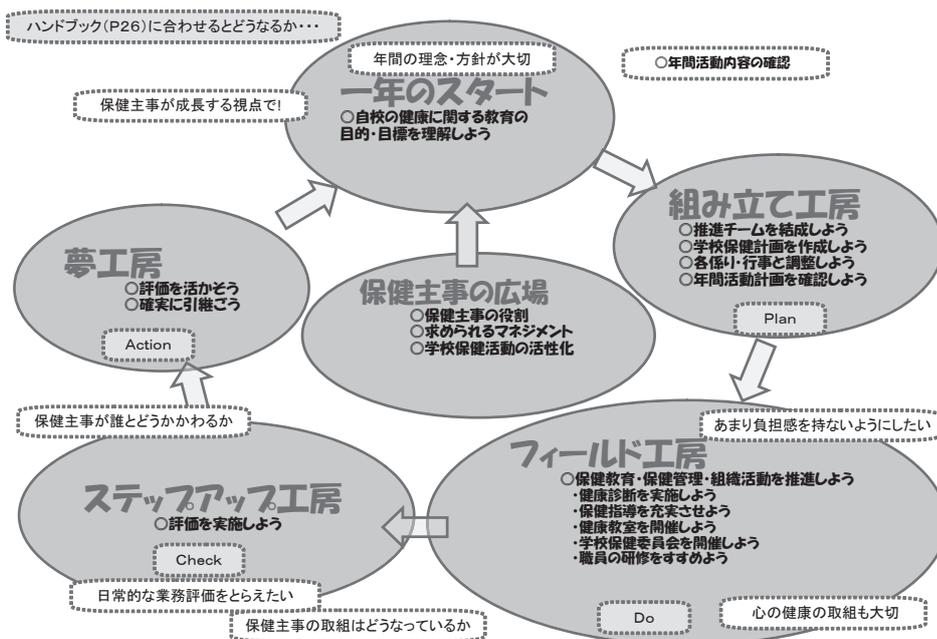
(1) 保健主事の役割をとらえる

- ・ 学校保健活動全体像をとらえる
- ・ 学校保健活動をマネジメントする
- ・ 組織を動かす

保健主事の役割の一つには、学校保健活動の全体像をとらえてマネジメントするということがあります。学校全体の保健に関連する事柄について、その計画や実行、結果の評価によって次年度につなぐなど、学校保健活動を円滑に遂行することが期待されているのです。保健主事が学校保健活動を推進する際に、強力な力となるのは組織であるといえるでしょう。組織をいかに組み立てる（構造をつくる）か、そして動かす（機能させる）かは、学校保健活動の活性化を左右することになるのです。学級担任、教科の担当など、教職員はそれぞれの職務の特性や立場があります。それを組み合わせて、学校保健活動を実行し高めていけるように組織づくりを行い、それを動くようにすることが、保健主事に求められているのです。

保健主事の一年間を見ると、その流れは図1のようなとらえ方もできます。この図は、保健主事が学校保健活動や組織に働きかけるときの手ごかりとなるように示そうとしたものです。保健主事の立場からみると、こんなとらえ方もあるのです。

図1 保健主事の一年間



一年のスタートに当たっては、まず始めに、保健主事の役割、求められるマネジメント、学校保健活動の活性化について考えてみましょう。そして、一年のスタートが切れるように、自校の健康に関する教育の目的・目標を理解しましょう。すべてを把握するのは無理にしても、例えば学校保健活動という事項の管理に当たって、それらをマネジメントして活性化するための働きかけをするという役割があることをとらえて一年間を見通したいものです。

もちろん、学校保健活動は、保健主事が一人で背負うことができるものではありません。関係する教職員の叡智を結集していくことを考えてみましょう。そのためにも、校内の教職員及び児童生徒の組織が動いて学校保健活動が推進するように、企画したり、連絡・調整したりすることに取り組んでみましょう。また、家庭や地域社会との連携を視野に入れておくことも大切なことです。学校は、学校のみで教育活動を抱え込んだり、完結したりするのではなく、手を携えて、家庭や地域社会の協力が得られるように、連絡・調整を行っていきましょう。これらのことを推進するためにも、トップリーダーとしての校長、副校長・教頭を始め、学級担任や教科担当、養護教諭や栄養教諭・学校栄養職員、学校事務職員などの力を組織として結集していくことが必要になるのです。

一年のスタートにあたり、まずは、これらの方向性をイメージして合意を得たり、助言を得ることの方針を立ててみましょう。そして、自校の教育目標や学校経営方針、学校保健活動の方向性をとらえます。立てた方針は、管理職に報告・相談し確認します。次に、保健主事が所属する保健部などの学校保健活動を所掌する組織で合意を取り付けましょう。さらに、これらの動きを取る中で、学校医、学校歯科医、学校薬剤師などから保健管理に関する専門的事項の指導・助言を得るようにすることも大切なことです。

学校保健活動の推進を担う保健主事には、子どもの健康課題をとらえたうえで、校長への相談、連絡、報告を行いつつ組織を動かしていくことが求められるのです。

(2) よくいわれる「P-D-C-A」だけど

- ・ 学校保健活動のP-D-C-Aを考える
- ・ 学校保健活動と組織への働きかけの手順、見通しを立てる

保健主事は、学校組織の中におけるミドルリーダーです。マネジメントの主たる対象は、校長を始めとする学校経営責任者と学校保健活動等の実務を担当する保健部組織のメンバーや学級担任等となります。これらの役割をもった人々との連絡・調整を行うことになるのです。ここでは、学校保健活動「P-D-C-A」から考えてみましょう。

Plan(計画) :  はじめに、方針を立てます。

方針を立てるにあたっては、自分自身の持ち味というよりも、ミドルリーダーの立場から考えてみます。それまでの自分自身の経験に頼りたくなるかも知れませんが、少し意識的に考えてみましょう。

保健主事の実務を行うにあたり、対象となるものには何があるでしょうか。一つは事業としての学校保健活動、二つは保健部などの組織をあげることができます。この他に、学校において中心にすえる児童生徒をあげることができますが、直接の実務からは遠いので、各学校の実態に応じてとらえることとしておきます。

一つ目の学校保健活動は、年間を通じて行われます。保健主事は、児童生徒の健康課題を把握しつつ、教職員が円滑に学校保健活動の展開ができるように条件整備をすることを実務の中心として考えてみましょう。学校保健活動を一人でこなすのではなく、学校全体での取組の状態を引き上げるために、どのような手順で、誰に（どの組織に）働きかけるのかといったことの方針を立てて、連絡・調整を中心とするマネジメントを行うのです。

二つ目の組織は、保健部などの組織があります。保健主事にとっては、最も頼りになるメンバーで、養護教諭を始めとして学級担任、教科担当の教諭などで組織され、学校保健活動の展開に当たっての直接の担当者となります。組織内で前年度からの分担があるにしても、当該年度のメンバー構成や組織内の役割分担をどのようにするのかといった見通しを立てます。

特に、学校保健活動と組織活性化のために重要となるものには、保健主事がどのようなリーダーシップを取るのかをあげることができます。これについても、見通しを立てることが大切になります。

Do(実行) :  次に、連絡・調整に動きます。

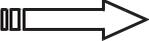
学校保健活動と組織の活性化に向けた保健主事の実行にとって重要なことは、学校経営の責任者である校長をはじめとする管理職との相談、連絡、報告です。着任早々や年度始め、あるいは前年度からの変更に伴う最初の相談は、特に重要です。相談したい案件について、「どうしたらよいか」ではなく、要点や変更点は何なのかを明確にします。

例えば、学校保健委員会の開催であれば、前年度と比べてポイントとなる点や異なる点は何なのかを明確にします。資料として、その運営方針などを記したものを準備するとよいでしょう。併せて、異なる点の説明や内容の理解に必要な次年度の実施要項案などの資料を添付して、相談に立ち会う人数分の資料を準備します。このほかに、必要に応じて、保健部などの組織の準備の進捗状況、今後の校外・校内の連絡調整の手順や動き、学校保健活動や組織、学校経営の方針や国の動向、教職員や児童生徒の現状なども把握しておき、必要と思われる資料は手持ち資料として相談の場に持参するのもよいでしょう。

校長などの了解が得られたら、相談の結果を保健部などの組織に持ち帰り、次の具体的方策を検討します。要点や変更点の指摘事項の対応をどうするか、次の準備のための連絡・調整の手順や動きといったことを確認します。そして、保健主事と保健部組織などのメンバーとの役割分担を決めます。それぞれの立場と役割によって、いつ（いつまでに）、誰が、どこで、何を、どのように、といったことを基本に作業手順を確認します。学校保健委員会の実施中は、企画・運営が適切か、組織は動いているのか、期待される効果はねらい照らして達成されているかなどのメモを取り、保健主事のマネジメントの評価につなげます。

Check(評価) :  ふりかえりの評価をします。

保健主事の実務の評価には、自身が行ったマネジメントと学校保健活動や組織の活性化の程度を評価するものが考えられます。その際、方針や方向性が適切であったか、動き始めた事業（例えば学校保健委員会）の企画・運営などの準備が円滑に進んでいるか、その役割分担と作業手順は適切であったか、関係者の意識は高まったのかといったことに視点を置きます。また、保健主事のマネジメントの評価として、うまくいった（うまくいかなかった）マネジメントにはどんなことがあるか、組織を機能させたか、連絡・調整は適切であったかなどについて評価します。学校保健活動への取組の評価は、ともすると、実務を担当する直接の担当者そのままになってしまい、保健主事のマネジメントの視点がぼやけてしまうことがあるので注意が必要です。

Action(改善) :  次に向けての改善策を決めます。

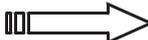
マネジメントと計画した方針や方向性に基づく結果の評価、それに対する改善策を検討し、決定します。また、保健部などの組織へのはたらきかけについての評価したことをもとに、次のマネジメントの方向性を決定します。

学校保健活動のP-D-C-Aは、連絡・調整をする中で、事業の展開や組織の状況を見ながら回してみましょう。これによって、学校組織の中におけるミドルリーダーの役割を果たしていくことに利用してみましょう。

(3) 保健主事の三年間

- ・ 方針・法規をとらえる
- ・ 「連絡」、「相談」、「報告」を整理する
- ・ 学校保健活動の質的な高まりを目指す

保健主事の仕事は、任に当たる期間が何年であれ、三年間を単位として考えたいものです。ここでは、一年目から三年目までの期間を取り上げます。

一年目 :  目の前のことを乗り越えながら二年目につなぎます。

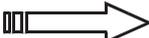
始めは、何が何だか判らない状況があるでしょう。保健部などの組織に前年度から引き続いて所属した場合はいくらか先が見えますが、いつもそのように配属されるとは限りません。あせらずに、あきらめずに、何が計画されていて、準備がどこまで進んでいて、保健主事である自分はどのような立ち振る舞いでマネジメントする必要があるのかを見極めます。また、仕事は、次の担当に引き継ぐことを前提に積み重ねておくことが大切です。目の前のことを乗り越えながら、自分が失敗したことと同じことを次年度の自分や後任の保健主事が失敗しないだけ

の資料を二年目に向けて蓄積するのです。

特に、学校経営方針や制度などの法規にかかわる校長等との連絡、相談、報告等の文書やメモは丁寧に取っておきましょう。保健主事の役割を遂行する際に重要になります。また、実際に校長等と打合せをする場合でも、用件が「連絡」なのか、「相談」なのか、それとも「報告」なのかを整理しておくことも、誤解なく相手に伝えるとともに的確な方針を得ることのできるひとつの技術といえるでしょう。

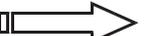
保健部等の組織においては、定例の、毎年行う行事や会議の準備・手順、手続きにかかわる文書やデータを蓄積します。例えば、いつ頃の時期に、誰に、どのように連絡をとったか、その連絡方法は何か（電話、対面など）、連絡の内容は何か（何を伝え、何を確認したか）といったメモを、担当や役割が分かるように残しておくことです。また、当日の流れや役割を示した資料に、保健主事の実際の動き記したメモを残しておくことです。これらのメモは、次の行事や会議、あるいは次年度の準備をするのに有用なものとなるでしょう。

一年目の後半には、次年度に向けて初年度の反省を行い改善案を検討します。新しい試みの導入を検討することもあるでしょう。反省や検討結果を反映させて、保健部等の組織で相談・検討を行い、管理職とも連絡を取り、次年度の学校保健計画を立案します。

二年目 :  前年度の課題を改善して取り組み、活動の質を高めます。

初年度の負担が半分以下になったと感ずるかも知れません。初年度には、手が回らなかったり、抜け落ちたりしたことなど、手続き上の課題や運営上の準備を確実にを行うようにします。その際、昨年は手書きのメモだったものをワープロなどで整理したり、打ち合わせで用いるのに書き込んでいけるような様式にしたりするなど、保健主事自身が自分の職務の進行管理を行うことができるように作成していけるとよいでしょう。

二年目の後半には、次年度に向けた反省を行い改善します。その改善には、二年目に新しい試みを導入した場合はそれを検討し、それ以前との違いをとらえ、残された課題や新たに出てきた課題を明らかにします。そして、さらに改善したものを反映させて、保健部等の組織で相談・検討を行い、管理職とも連絡を取り、次年度の学校保健計画を立案します。特に、三年目に向けた計画は、学校保健活動としての行事や委員会の活動を「成立させる」ことや「それまでのことを無難にこなす」ことから、「活動の質的な高まり」を目指してみましよう。

三年目 :  三年目の事業の仕上げ、確認、新規アイデアの導入を検討します。

三年目は、特に、二年目までに導入したことの仕上げと考えるみましょう。例えば、準備・手順、手続き上の課題を乗り越えることができたら、それを維持しつつ、よりいっそう組織が活性化するように働きかけてみましょう。

また、一年目と二年目に調べた法令が新しくなったり、その後の通知が来たりして、それまでとは異なる方針になることがありますので、情報収集を行い、早めの対応をしましょう。そして、四年目以降にどのような方向を目指すのか、子どもの実態等と組織の状況をとらえて検討します。

三年目の後半には、次年度に向けた反省を行い改善します。計画したことがどの程度実現したか、それに対して保健主事がどの程度関与し、貢献したかといったことを振り返ります。それらのことをもと、さらに改善したものを反映させて、保健部等の組織で相談・検討を行い、管理職とも連絡を取り、次年度の学校保健計画を立案します。特に、最低限必要な準備・手順、手続き上の課題の実施状況を評価しながら、学校保健活動としての行事や委員会の活動を質的な高まりに向けて可能性の高い取組みを目指してみましよう。

2 保健主事に求められるマネジメント

(1) 「ミドル」という保健主事

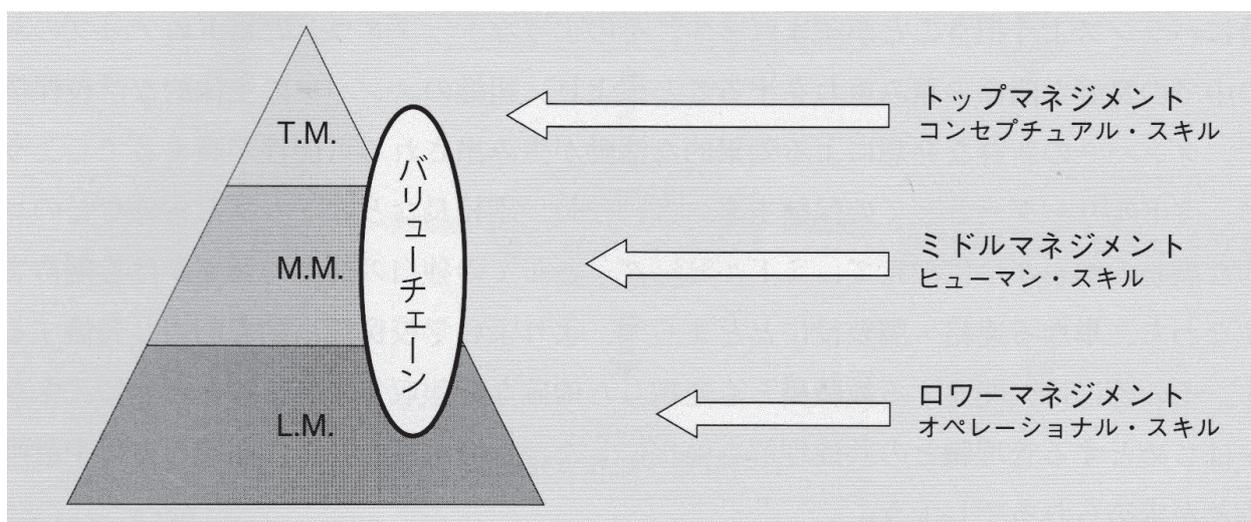
- ・ 組織の階層と価値のつながりをとらえる

一般的にマネジメントの分野においては保健主事は、組織の階層の中で「ミドル」という位置にいます。それは、どのような位置なのでしょう。図2は、組織の階層とそれぞれに共通する価値のつながり（バリューチェーン）があることを示しています。

図のトップマネジメントは、校長を始めとする学校経営をつかさどる役割にある人ということになります。ミドルマネジメントは、保健主事を始めとする分掌の長、学年主任などの役割にある人ということになります。ローアマナジメントは、分掌の構成メンバーや学級担任をはじめとする児童生徒に直接かかわる役割にある人ということになります。

これらは、それぞれの立場によって求められる資質・能力が異なることが知られています。トップマネジメントは、「概念的スキル」が求められます。学校経営上、組織における目標や方針の決定、それを遂行するための組織管理を行うことが考えられています。ミドルマネジメントは、「対人的スキル」が求められます。校長を始めとするトップマネジメントによって決

図2 組織の階層と学校保健活動のバリューチェーン



定された基本方針に従って、分掌の運営方針を決定し、自分の担当する組織においてどのように実施するか、学校としての方針と実施をつなぐための調整を行うことが考えられています。ローマネジメントは、「実務的スキル」が求められます。児童生徒や保護者などと直接に向き合い、学校保健活動の実務を展開していくことが考えられています。ただし、これらのスキルは画然と区別されていて一つのスキルで一つのマネジメントが事足りるのではないということがいえます。組織の各階層に求められるスキルは、それぞれの役割にとって、重点的に求められるものであることに注意する必要があります。

また、組織上の役割によってマネジメントの階層がありますが、それぞれの組織階層に共通の価値でつながり（バリューチェーン）を持つことが重要であるとされています。図2の中に縦につないでいる組織の階層に共通する部分です。専門職としての教員は、児童生徒の健康や学校全体の教育活動推進という共通の価値を共有することでつながりを持つことが求められるのです。

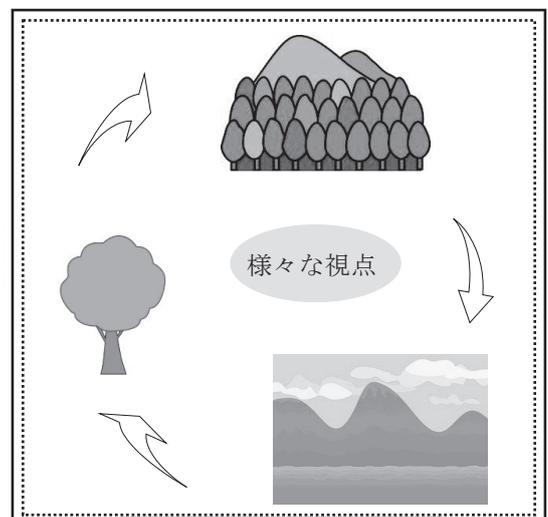
保健主事は、このような階層の中で、学校保健活動のミドルマネジメントに位置しているのです。したがって、対人的スキルを駆使して、連絡・調整を行うことが求められます。さらに、保健主事には、教諭又は養護教諭の職務もありますので、ミドルマネジメントとローマネジメントの双方を使い分けることが求められます。保健主事に求められる重要な立ち振る舞いは、学校経営方針を踏まえながら校長を始めとする学校経営責任者と連絡、相談、報告を行い、児童生徒の健康推進に向けて自身の所属する保健部などの組織が生き生きと動くことができるようにすることなのです。

(2) 組織を活性化させる

- ・ いかにか「活力ある状態にするのか」がマネジメントの基本
- ・ 個別と全体の双方の視点を持つ

保健主事に求められるマネジメントとしては、学校保健活動にかかわる人、設備・用具、経費、情報など、それらを動かす組織に対して働きかけを行い、活力ある状態にしていくことがあります。いかにか「活力ある状態になるのか」ということは、保健主事に求められるマネジメントの重要なことです。

マネジメントには、保健主事のリーダーシップが欠かせません。計画(Plan)、体制づくり(Do)、評価(Check)、修正(Action)のそれぞれの場面に保健主事はかかわり、活力が出てくるように働きかけることが求められます。保健主事には、保健主事自身がかかわる個別の部分に対応することと学校保健活動の全体に対応することが求められます。



しかし、「木と森」、「蟻の目、鳥の目」という例えのように、部分と全体は同時に見ることができません。あるときは近づいて木の幹や葉の色具合、あるいは地面の枯れ葉の陰に目を配ることも必要でしょうし、あるときは遠く離れて木の集まった全体の、山の大きさや形状、あるいは山と平野を一望に見渡すことも必要でしょう。ひとくちに「P-D-C-A」といった場合に、保健主事には、それぞれの場面で、学校保健活動などについて個別のことと学校全体のこととの双方の視点をもったマネジメントを行うことが求められます。そのことが、組織を活力ある状態にしていく第一歩となるでしょう。

3 本事例集の特徴と活用について

(1) 保健主事のうごきが見えるようにしたこと

本事例集は、次のような13の事例をあげています。それぞれは、保健主事がいかに学校保健活動をマネジメントするかといううごきが見えるように作成しています。保健主事が、事業の時期や校内の活動の流れに沿って、連絡や調整、報告、連絡、相談といったうごきを示しています。また、適宜、関連するマネジメントについてのコラムを入れています。

本事例にあげられたものは、ほんの一部でしかありませんが、読者の皆さんが日頃の職務を遂行する手がかりを得る参考として示しています。

<学校保健活動の例：6事例>

事例2：事前調査と準備から保健活動を充実（特別支援学校）、事例3：教職員との協働から保健活動を充実（中学校）、事例5：緊急時に備えたリーダーシップの発揮（小学校）、事例7：学校補委員会の活性化を図る（小学校）、事例9：生徒をやる気にさせて一步前進（高等学校）、事例11：課題の解決に向けた校内研修の開催（小学校）

<組織活動の例：5事例>

事例1：一年間を見通して校内体制を整える（小学校）、事例4：組織的に的確な情報提供を行い保健管理を充実（高等学校）、事例6：組織活動を重視した感染症対策の実践（中学校）、事例8：地域学校保健委員会を開催しよう（小・中学校）、事例10：効果的な保健部会の運営（高等学校）

<評価の例：2事例>

事例12：目標を達成させるための保健活動の評価（特別支援学校）、事例13：保健活動の充実につながる保健主事の自己評価（中学校）

(2) 改善するのはみなさんです

保健主事の仕事は、その役割を実際に遂行するみなさんによって営まれます。本事例集を参考に、みなさんなりの取組を行ってみてはいかがでしょうか。そして、そのときの反応や結果をもとに、取り組んでみてください。その中から、次の解決策を見だし、成果に関わっていくのは、他ならない保健主事なのです。学校保健活動を推進する組織が生き生きとなるかどうかは、保健主事の役割遂行に寄るところが大きいといえるでしょう。

本事例集は、保健主事に焦点を当ててまとめていますが、子どもの実態をとらえ、学校全体の方針や方向性もとらえつつ、学校保健活動への働きかけの改善を重ねていくのはみなさんです。保健主事のマネジメントとは、学校保健活動の推進や活性化を目標とするのはもちろんのこと、かかわった組織の人たちが協働していけるようにすることであるともいえるでしょう。保健主事への取組が、自身の成長と保健主事という職の発展、そして学校保健活動の推進によって子どもたちの健康の推進につながることを願っています。

1年間を見通して校内体制を整える(小学校)

—全校体制で学校保健推進に取り組んだ事例—

1 事例の概要

平成20年1月の中央教育審議会答申において、「保健主事は、すべての教職員が学校保健活動に関心を持ち、それぞれの役割を円滑に遂行できるように指導助言する」とある。しかしながら、学校保健に対して教職員の意識を高めることは難しく、本校の課題でもあった。今回、研究校の指定に合わせ校内体制を見直し、全校体制で学校保健活動に取り組んだ。

ここでは、教職員の意識の向上を図り活動の成果をあげた小学校(児童数約270名の中規模校)の取組を中心に紹介する。

※参考「保健主事のための実務ハンドブック」
(文部科学省 H23.3) 以下 [ハンドブック](#) P 33~39
保健主事の一年間をイメージしよう!

2 校内体制づくりへの働きかけ

学校の健康課題を捉え、学校保健計画を確認し、一年間の活動の見通しを立てる。

【課題】

【対応策】

○学校保健活動を円滑に進めるための校内体制は整っているだろうか。校長のリーダーシップのもと、保健主事を中心とした教職員の協力体制が弱いのではないだろうか。

校内運営委員会
への提案

○教職員を3つの部に分けて「学校保健推進メンバー」として位置づけた、校内体制づくりを検討してはどうか。

- ・授業等推進部
- ・情報啓発部
- ・地域連携部

○各部毎のリーダーを明確にする。

○教職員の学校保健に対する意識のボトムアップが図れるような、働きかけが必要なのではないだろうか。



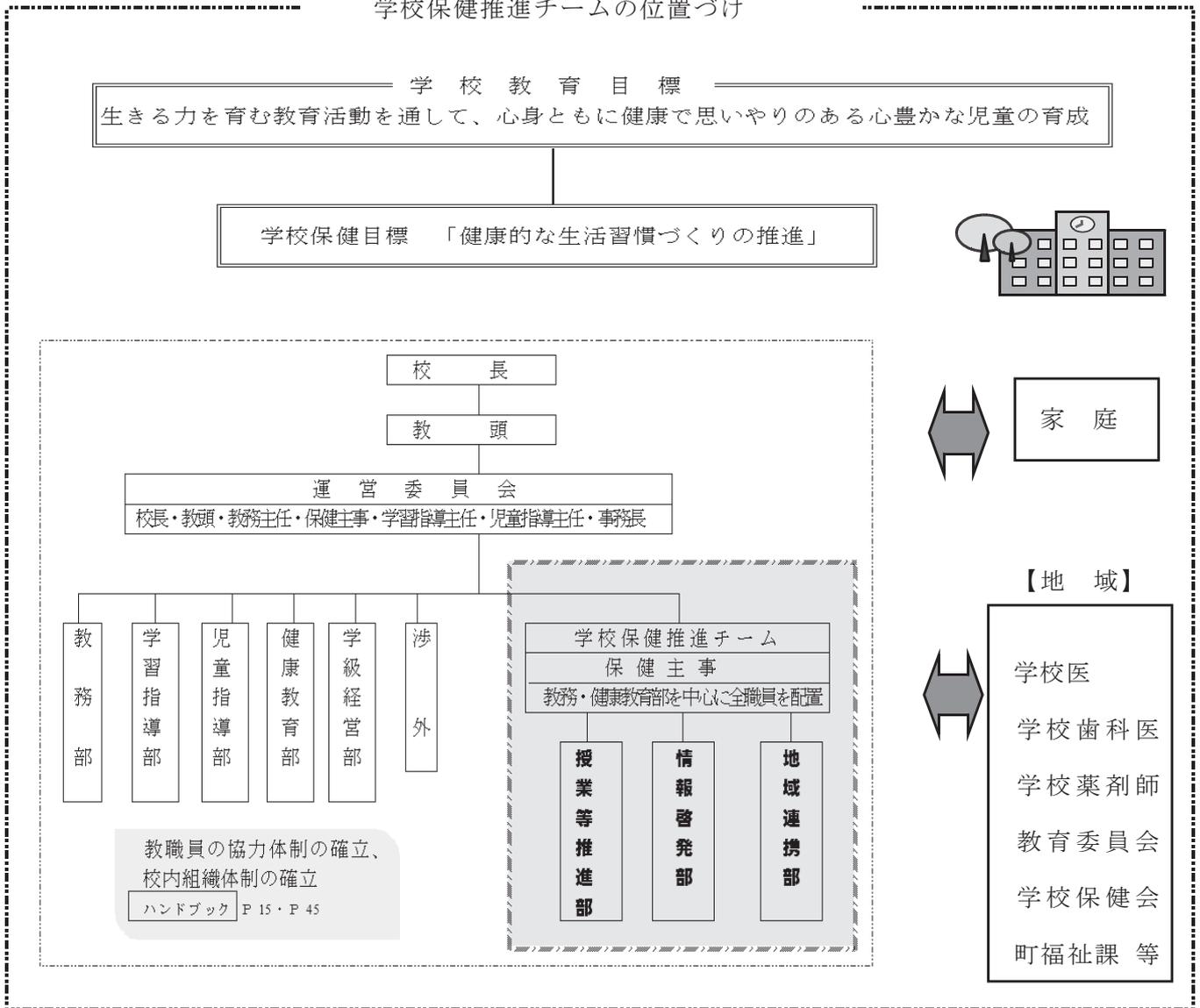
(保健主事)

○忙しい毎日なので、研修を深めたり、活動を検討する時間を持つことがなかなか難しい。

教務主任への
働きかけ

○研修や打ち合わせの時間などを年間を通して計画し、活動時間を確保することにしてはどうだろうか。
→校内研修や職員会議等を調整し時間確保の方向へ。

学校保健推進チームの位置づけ



3 年度初めのうごき

一年間の活動内容や見通しについて共通理解を図る！

校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇配慮事項
○職員会議 	◎学校保健年間計画の提案。 ◇「学校保健推進チーム」については教頭に、会議等の時間の確保については教務に提案を依頼する ◇各部会の一年間の活動の見通しの確認 ◇リーダーとその役割について共通理解を図る
○各部会の開催 ↓ (各部のリーダーから報告) ○職員会議	◎各部の実践内容検討時に参加。 ◇授業等推進部、情報啓発部、地域連携部の各部ごとに具体的な実施内容を検討し、一年間を見通した活動を計画 ◎各部毎の実践計画について、今後の活動内容の共通理解を教職員に図る。

4 各部の実践

①【授業等推進部】

【保健主事として】

- ☆専門医を活用した授業
- ・5年生 学級活動
「見直そう生活習慣」
- ・6年生 体育（保健）
「生活習慣と病気」
- ☆専門医による健康相談の実施

◎授業内容や進め方の協議に参加。役割分担について明確にする。

- ◇指導案作成、授業の実践（担任）
- ◇講師との連絡調整（保健主事）
- ◇講師派遣依頼など文書関係（教頭）
- ◇当日の会場準備（5、6年生・担任）

「6年生 体育（保健）の授業の様子」

生活習慣病を理解し、その予防をするために専門医を招き、保護者も参加する授業を実施。多くの保護者が参加した。



「専門医による健康相談」

保護者の希望が多かった内科・眼科・整形外科の健康相談を実施し、専門医が個別の相談に応じた。



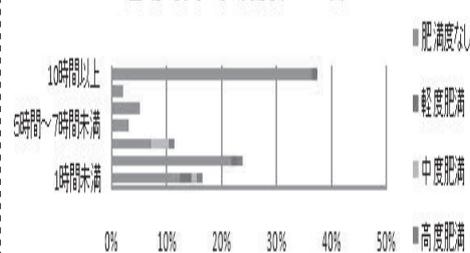
②【情報啓発部】

- ◇「生活がんばりカード」の実施
- ◇児童の生活や運動量のアンケートを実施し実態を把握する。
- ◇情報の提供

◎実施に向けた協議に参加し、内容の確認と役割分担を明確にする。

- ◇アンケートの素案の作成（養護教諭）
- ◇アンケートの配付、集計（担任）
- ◇生活がんばりカードの活用（担任）
- ◇結果のお知らせの作成・周知（情報啓発部員）

運動時間と肥満度(5・6年)



○生活に関するアンケート
肥満傾向の児童が多いという実態から、運動時間と肥満度の相関について調査した。

○生活がんばりカード
生活習慣に関して家庭と学校で連携して取り組む手立てとして実施。親子で生活を振り返った。

生活がんばりカード

11月15日(日) 5年1組 番 名

夜、寝る前に一日のことをおうちのひとと一緒に振り返り、あてはまるところに○をつきましょう。
今日は得意とれたかな?

①朝、朝顔を食しましたか?
~6時前 ~6時30分 ~6時30分~
10点 5点 1点

②朝ごはんを...
全部食べた のこした 食べなかった
(10点) 5点 1点

③朝ごはんを...
全部食べた のこした 食べなかった
(10点) 5点 1点

④家で食べた時、食事を...
食べた 半分くらい 食べない
(10点) 5点 1点

⑤朝ごはんの分量(お茶や持参物)を...
半分でした 減らして 減らしてない
(10点) 5点 1点

※「頑張ろうぞいっしょ」いっしょに頑張ろう

③【地域連携部】

◇専門医による講演会の実施
 ◇学校だよりなど、広報誌誌への掲載による啓発活動
 ◇町内全校が同一歩調で実践するための働きかけ



◎講演会の開催に向けた協議に参加し、内容の確認と役割を明確にする。
 ◇講師との連絡調整（保健主事）
 ◇講演会の案内（教頭）
 ◇当日の準備（地域連携部・PTA）
 ◎教育委員会・校長会・学校保健会など、外部機関との連携を校長に依頼する。
 ◎校長会・町学校保健会 本校の実践を町全体へ普及

○PTA学習部と協力して、専門医を講師に招き「生活習慣病予防」のための講演会を開催する。
 ○校長会を通じて専門医を活用した授業を依頼。町内の他の小中学校全てで実施する。
 ○学校保健会及び栄養教諭と連携し「朝ごはん通信」を作成。小中学生の家庭に配付する。



<p>○反省・評価 ○次年度への計画</p>	<p>○校内で反省評価し、次年度への課題を検討。次年度の学校保健計画の素案を作る。</p>
---	---

5 成果

【校長】
 外部の方を招いての会議も多かったが、各部のリーダーや役割がはっきりしていたのでスムーズな運営につながった。



【教頭】
 職員会議や朝の打ち合わせで、こまめに共通理解を図っていたので、先生方の動きもわかり、仕事の進捗状況が把握しやすかった。

【担任】
 忙しい毎日なので、活動を検討する時間を学校全体で確保してもらえたので、とても動きやすく、また能率的な実践につながった。

【保健主事】
 今回、年度初めに校内体制を整え、学校保健活動に対する全職員の位置づけを明確にする働きかけから活動を始めた。活動の中でリーダーを決め、各自の役割をはっきりさせることが、一人一人の意識の高揚につながったと感じている。また、校内体制が明確になることで、保健主事が一人で空回りすることなく、学校保健に対し組織として動けたことが大きな成果であった。
 年度初めにしっかり校内体制を整えるための働きかけが、結果的によい実践につながっていったと考える。保健主事のみドルリーダー的役割の大切さを感じた一年でもあった。

「もしドラ」から学ぶ保健主事のマネジメント

岩崎夏海さんの「もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの【マネジメント】を読んだら」(2009、ダイヤモンド社)が、ベストセラーになり、注目を集めました。当然のことながら、我が国での高校野球の人気が重要な要因であり、普通の高校の野球部が、あこがれの甲子園出場を果たすというサクセスストーリーが、多くの読者に素直な感動をもたらしたからでありましょう。また、男くさいイメージの「高校野球部員」の中にあって、主人公である女子マネージャーの、さわやかで理にかなった発想と行動が、部全体、学校全体に行きわたり、大きな成功につながるという、わかりやすさが受け入れられたものと考えられます。

一方、作品としてのそのような情緒的な魅力とともに、人々の「マネジメント」という、少しわかりにくい部分があるものの、組織や連携などのように、つながりを持つことの必要性や、興味関心なども見逃せない要因でしょう。ドラッカーという近代組織マネジメントの巨匠のもつ信頼性と、組織や組織的な行動の基礎基本を理解したいという潜在的な要求や必要感も、大きく作用したように思われます。

この「もしドラ」を魅力的な作品として味わい、その感動を楽しむとともに、さらに、マネジメント理論の基礎テキストとして、少し冷静に読んでみることも意義深いものと思われます。このドラマは、あくまでもフィクションの世界ですが、随所にちりばめられているいくつかのマネジメント上のキーワードが、ミドルマネージャーとしての保健主事に大きな刺激を与えることでしょう。

保健主事が、学校全体の保健活動の中心人物として、また、教職員や児童生徒を余すところなく巻き込んで……。さらには、地域や広域地域と一体となった活動のキーパーソンとして機能していくことも、ますます現実味を帯びてくるのではないのでしょうか。

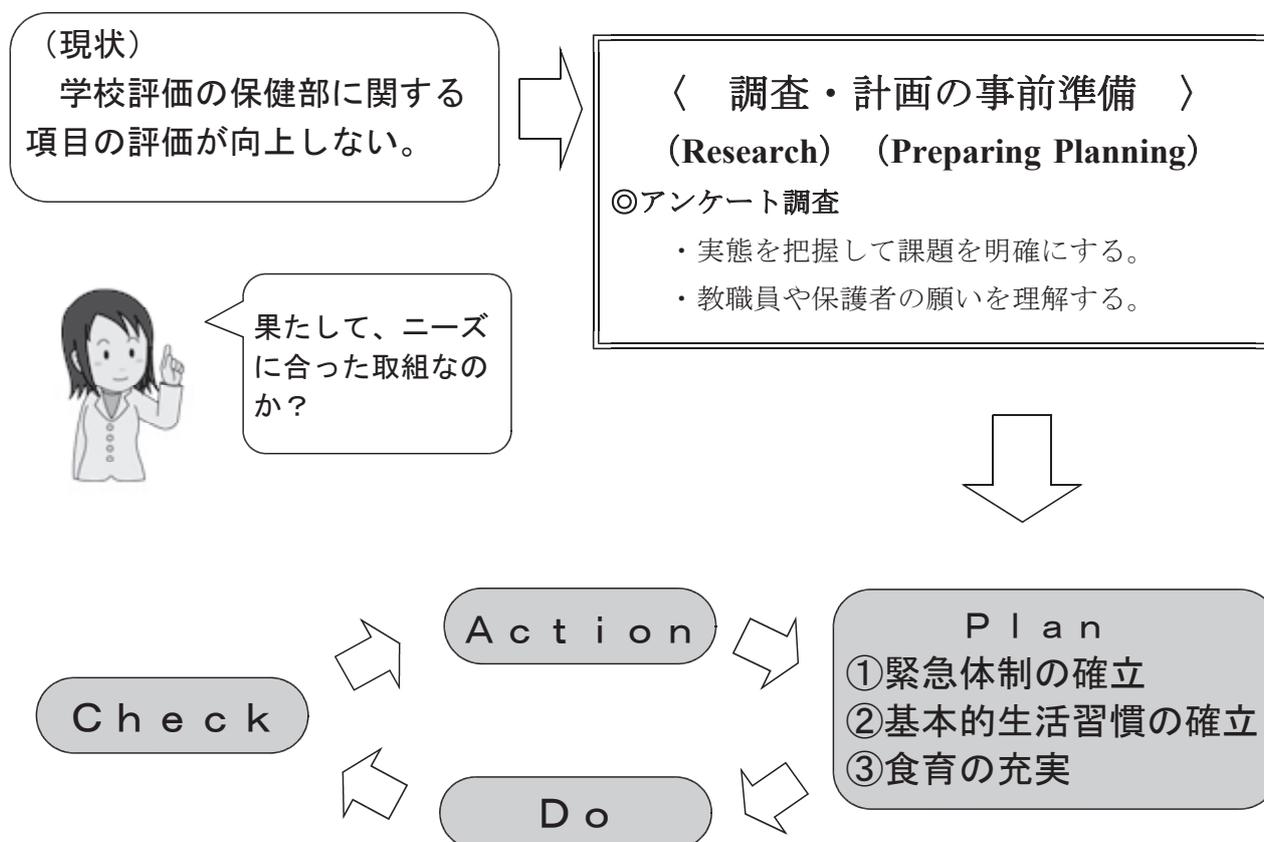
事前調査と準備から学校保健活動を充実（特別支援学校） ～よりニーズに合った学校保健活動をめざしアンケート調査に取り組んだ事例～

1 事例の概要

本校は、幼稚部・小学部・中学部・高等部からなる特別支援学校で、児童生徒の年齢層が幅広く職員数も多いことなど、それぞれのニーズに応じて学校保健活動を推進するには難しい状況にある。そのためか、毎回実施される学校評価において保健部に関する項目の評価が向上していない。

この状況を改善するため、新年度をスタートする前に、アンケート調査や関係者の声を聞くなどして実態を把握し、よりニーズに合った活動につなげようと考え実践した。その結果、マネジメントサイクルを機能させるには、計画の前の調査や企画運営のための準備がいかに重要であるかを実感するに至った。 **ハンドブック** P. 31

ここでは、学校保健の重点目標を中心に、年度末にアンケート調査を行い、次年度の活動につなげた取組を中心に紹介する。



2 実践内容

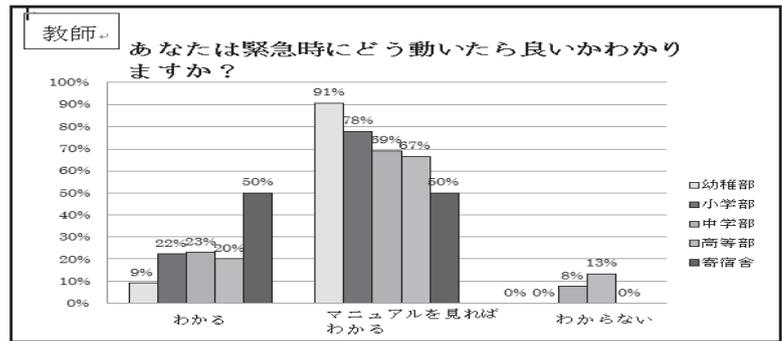
時期	校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇配慮事項
2月上旬	保健部会	◎保健部会を開催し原案を提案する。 ・アンケート内容、対象、時期等の確認
		<div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> 学校重点目標からアンケートを3点にしぼる。 ①「緊急体制の確立」 ②「基本的生活習慣の確立」 ③「食育の充実」 </div>
中旬	管理職の助言	◎修正した計画を管理職に報告しアドバイスをもらう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> (教頭) 職員に対して必要性について説明が必要。 </div>
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <h3>アンケートによる事前調査と準備から計画を作成</h3> </div>		
下旬	運営委員会	◎アンケートの実施について提案する。 ◇学校全体の取組として理解を得る。 ◇今後のスケジュールを確認する。
3月上旬	保健部会	◎保健部会で最終案を提示し最終確認をする。
中旬	アンケート調査の実施 (各学部)	◎全体の進捗状況の確認と、集計やまとめの依頼をする。 ◇集計方法を確認する。(集計は保健部員) ◇アンケートの問題点や改善点をまとめて次年度に引き継ぐ。
下旬	保健部会	◎今後の活動について確認する。
	運営委員会	◎アンケート結果等の報告をする。 ◇結果から見えてきたことは何か考察する。 ◇今後の取組についての方針を伝える。 ・結果から新たなプログラムの必要性を確認 →次年度に向けて保健部で検討

3 アンケート調査の結果から

3つの目標である①「緊急体制の確立」②「基本的生活習慣の確立」③「食育の充実」について、それぞれ特徴的な結果が出た項目について見てみると以下のようになった。

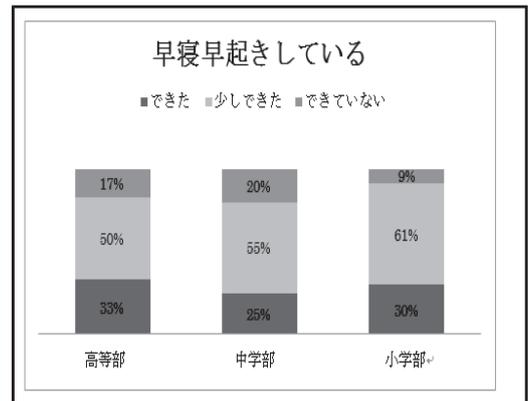
①「緊急時の対応」

緊急時に「どう動くか分からない」との回答があった。また、教職員の多くがマニュアルに頼っている傾向が見られる。



②「基本的生活習慣の確立」

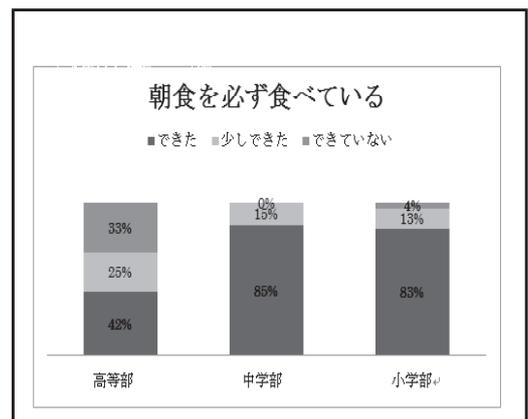
早寝早起きができている割合が思った以上に高かった。また、この他に、歯磨きや入浴についても毎日行われていない状況が見えてきた。



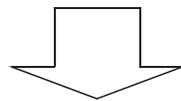
③「食育の充実」

朝食を食べていない児童生徒の割合は、小・中学部で 15～18%、高等部では半数以上を占めている。

以上の原因について保健部で考察したところ、保健活動の重要性について教職員や児童生徒、保護者への啓発が不十分であったことや、個に応じた適切な指導に至っていないこととの反省があげられた。また、児童生徒の噛む力の向上が必要との声も多数上がった。



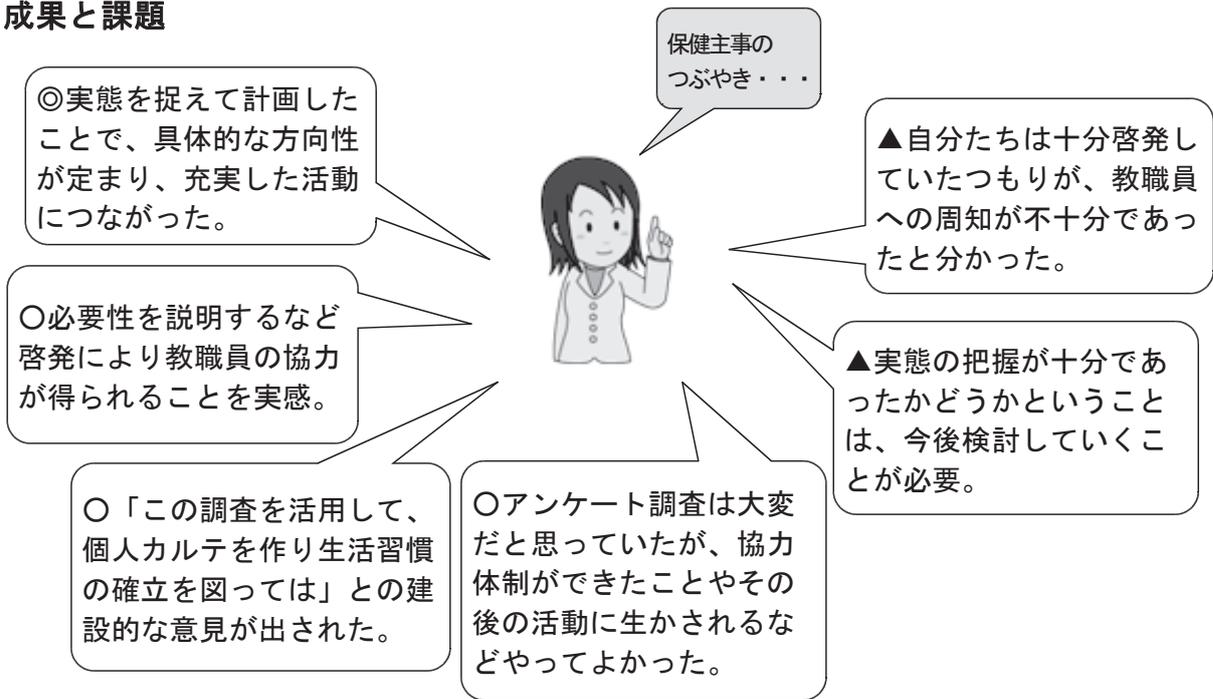
これらを踏まえ、保健部として改善のための新たな活動が必要と判断し、次のような取組を行うこととした。



次年度へ向けての新たな取組

- ①「特別支援学校の緊急時対応マニュアル(保健編)」の掲示の再検討と啓発 **【管理職とも連携】**
- ②基本的生活習慣のチェックリストを兼ねたカルテの作成 **【各部の職員の声を反映】**
- ③噛む力のアップを目指し、「カムカムデー(良く噛んで食べるメニューの日)」の設定 **【学校栄養職員や給食担当と連携】**

4 成果と課題



健康に関するアンケート（児童・生徒用）
（小・中・高）学部

○児童生徒のみなさんの健康づくりのために、参考にしたいので次のアンケートに答えてください。わからないことがあったら、先生に聞いて答えてください。

1 右の□の中のことで、あなたができていることは○、少しできていることには△、できていないことには×を（ ）の中に書いてください。

○：できた、△：少しできた、×：できていない

- ・（ ） 好き嫌いを何でも食べられる。
- ・（ ） 朝食を必ず食べている。
- ・（ ） 毎食後歯をみがくことができる。
- ・（ ） 毎日風呂に入って、体を清潔にしている。
- ・（ ） 食事の前や外から帰った後は、手洗いができる。
- ・（ ） 早寝早起きしている。

健康に関するアンケート（児童・生徒用）
（小・中・高）学部

○児童生徒のみなさんの健康づくりのために、参考にしたいので次のアンケートに答えてください。わからないことがあったら、先生に聞いて答えてください。

1 あなたは学校で体調が悪くなったりがをしたら、すぐに先生に伝えていますか？
(1) 伝えている (2) 必要があれば伝えている (3) 伝えていない

2 体調が悪かったりけをしたら、保健室の先生や担任の先生の言うとおりにできましたか？
(1) できた (2) だいたいできた (3) あまりできなかった
(理由：)

3 右の□の中のことで、あなたができていることには○、少しできていることには△、できていないことには×を（ ）の中に書いてください。

○：できた、△：少しできた、×：できていない

- ・（ ） 好き嫌いを何でも食べられる。
- ・（ ） 朝食を必ず食べている。
- ・（ ） 毎食後歯をみがくことができる。
- ・（ ） 毎日風呂に入って、体を清潔にしている。
- ・（ ） 食事の前や外から帰った後は、手洗いができる。
- ・（ ） 早寝早起きしている。

4 上の(△)や(×)のことに、今少しでもがんばっていることはありますか？
(1) ある (2) 少しある (3) ない

5 好き嫌いをなくいろいろな物を食べることは大切だと思いますか？
(1) 思う (2) 少し思う (3) 思わない

6 好き嫌いをなくいろいろな物を食べるように、がんばっていますか？
(1) がんばっている (2) 少しがんばっている (3) がんばっていない

7 よくかんで食べることは大切だと思いますか？
(1) 思う (2) 少し思う (3) 思わない

8 よくかんで食べていますか？
(1) 食べている (2) たまにそうしている (3) 意識していない

健康教育に関するアンケート（教師用）
（ ）学部 担任・副担任 (○をつけてください)

※本校の学校保健の重点目標の3点について、以下の質問に答え、該当する記号に○をおつけください。なお、○、△と答えたい方は（ ）にその理由をご記入ください。

A よく当てはまる C やや当てはまらない
B やや当てはまる D 当てはまらない

1 緊急体制の確立について
(1) 緊急事態が発生したときの職員の見守りや指示が迅速に行われていますか。
[] A B C D
(理由：)
(2) あなたは緊急時の対応マニュアルの指示場所は適切だと思いますか。
[] A B C D
(理由：)
(3) 自分が担当（担任または授業で担当）する子どもの「健康上の配慮」を把握しやすい体制になっていると思いますか。
[] A B C D
(理由：)
(4) 「緊急時対応マニュアル」や「熱中症対応マニュアル」は活用しやすいものになっていますか。
[] A B C D
(理由：)

2 基本的な生活習慣について
(1) 担任している（又は副担任のクラスの）生徒（児童）の基本的な生活習慣について、指導しやすい体制になっていると思いますか。
[] A B C D
(理由：)
(2) 基本的な生活習慣について家庭と連携して指導しにくいところはありますか。
[] A B C D
(理由：)

3 食育の充実について
(1) 担任している（又は副担任のクラスの）生徒（児童）について、食に関する課題がありますか。
[] A B C D
(理由：)
(2) 日々の給食指導やその他の時間で、食に関する指導をしやすい体制になっていると思いますか。
[] A B C D
(理由：)

ありがとうございました。来年度の参考にさせていただきます。

1, 2は「緊急体制の確立」
3, 4は「基本的な生活習慣の確立」
5～8は「食育の充実」
について聞いたものである。

計画の前の段階：スタートが肝心！

様々な業務や組織的な活動は、計画（Plan）－実行（Do）－評価（See）のように一連のマネジメントサイクルの有機的なつながりのなかで展開されます。P・D・Sが基本のユニットとなりますが、業務や活動の状況と特性によって、特徴的なバリエーションを生み出します。例えば、目標に大きな意味を持たせて特徴づける場合には、Object－Plan－Do－See のサイクルが強調されることでしょうか。また、評価を重視し、次のサイクルへのつながりを強調する場合には、Plan－Do－Check－Action となる場合もあります。

様々な学校保健活動においても、当然のことながら、マネジメントサイクルを活用した効果的なマネジメント展開の例が多く見られます。より活発な保健部会の運営を目指す保健主事のマネジメントにおいても、このようなマネジメントサイクルの活用が望まれます。特に、Plan の段階の前に、必要に応じて調査(Research) や資料収集、実態を示す基礎資料を十分に整えることなど、企画や計画のための周到な準備(Preparing Planning)をすることが重要なポイントとなる場合があります。

このような準備は、基本的には Plan の段階に含められますが、特に準備段階を重視し、マネジメントサイクルに明確に位置付けることも重要になります。この事例のように、企画及び計画の前の段階において、必要な各種の資料を収集し、周到な準備をし、生きた計画につなげることができれば、後は順調に・・・と。「始めよければ終わりよし」となることでしょうか。

教職員との協働で学校保健活動を充実(中学校)

～ 専門家を活用した事業を通して課題にせまった事例 ～

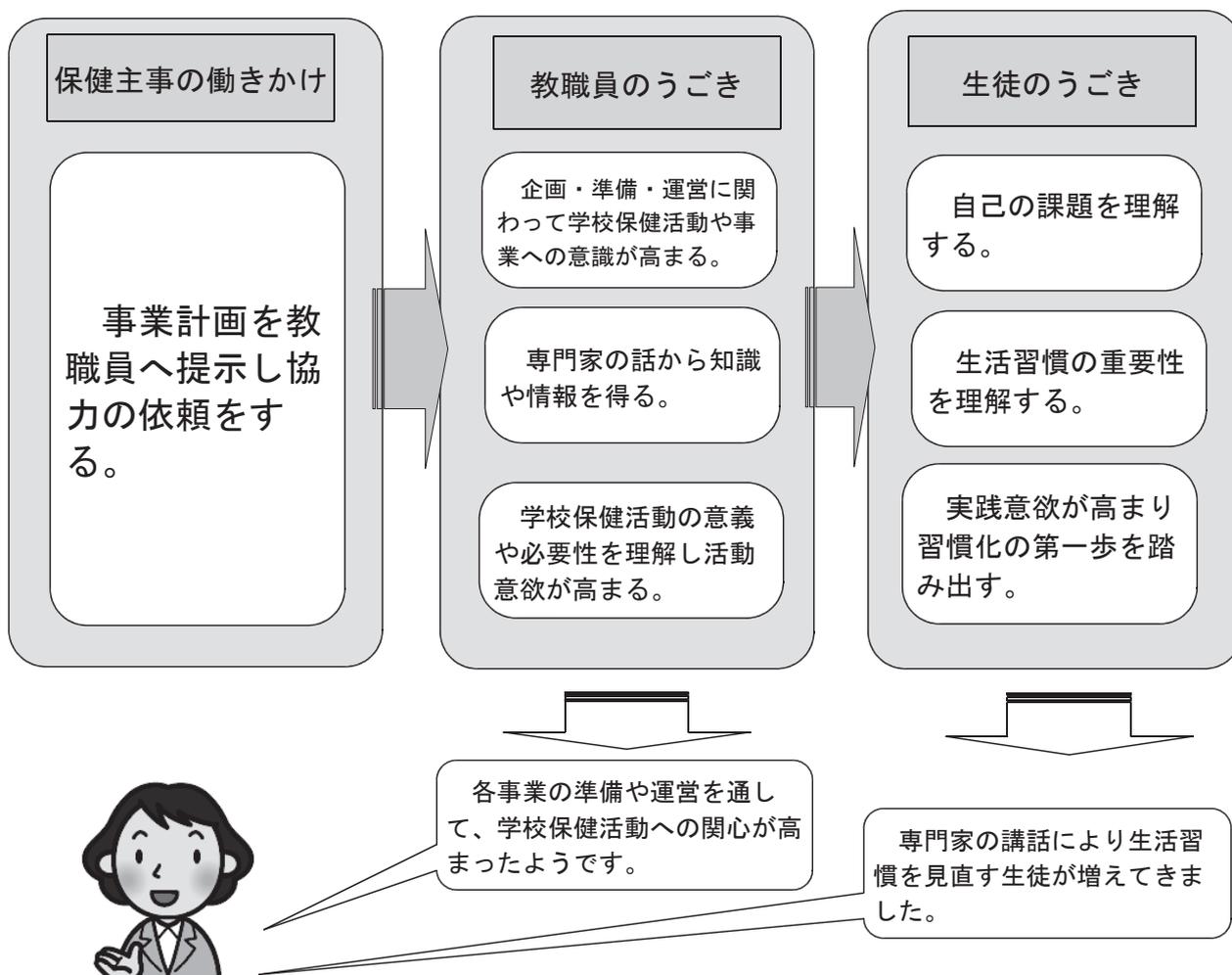
1 状況の説明

保健主事となって2年目。学校保健活動のマンネリ化と、生徒の生活習慣の乱れが本校の課題であることを実感していたことから、今年はその改善を図ることを目標に掲げた。実現に向けては、保健教育に専門家を積極的に活用することで学校全体の保健活動を活性化させ、生徒の健康に対する意識を高めることで生活習慣の改善につなげようと考えた。

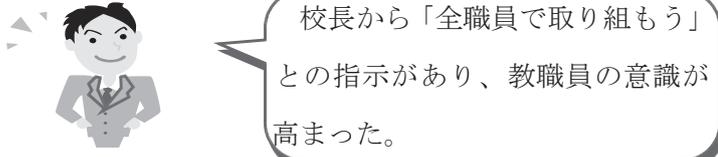
ここでは、保健主事が事業計画を示すことで、関係する教職員との協働により、課題の改善に向けて取り組んだ事例を紹介する。

2 取組の流れ

保健主事が教職員に専門家を活用した事業の計画（資料 1）を示すことで、目的や活動の流れが理解され、その後の活動の充実につながった。さらに、教職員の意識の高揚により主たる目標である生徒自身の生活習慣の見直しに関して効果的な指導や支援が行われた。また、保健部会のメンバーをはじめとする教職員が分担して事業を進めることで、学校保健活動への意識が高まり活動の活性化につながることを実感した。



3 実施内容

	校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇連絡調整の配慮事項
4月	○保健部会の開催 *実態把握と活動方針の決定	◎前年度からの引継ぎ事項や統計などから課題を探り、関係者と協力し活動目標や活動方針、事業の計画を立てる。 ◇引き継ぎ事項や統計を分析し事前に資料を準備する。 ◇メンバーや関係者の声をできるだけ引き出す。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>『生活習慣を見直すための専門家の活用計画』の作成 (資料1)</p> </div>		
5月	*事業計画案の作成 ○職員会議での提案	◇事業計画の作成は分担し進める。 ◇管理職に協議概要を報告し、助言を得る。 <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;">保健部の協議を受け、校長が生活習慣を確立するための目標を掲げ、学校経営ビジョンに盛り込まれた。</div> ◎教職員への事業の周知と協力を依頼する。 ◇分かりやすいように活用計画の案を示して説明する。 ◇各学年、教科等での取組を依頼する。
 <p>校長から「全職員で取り組もう」との指示があり、教職員の意識が高まった。</p>		
6月以降	○保健部会の開催 ○アンケート調査の実施	◎関係者と共に事業の準備と運営にあたる。 ◇分担を指示(依頼)し、準備や運営内容を確認する。 ・渉外を管理職、時間確保を教務主任に依頼 ◇管理職へ進捗状況の報告と確認する。 ◇全体の動きを把握しメンバーへ助言する。 ◎調査方法と役割の分担について協力を依頼する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>事業の評価・改善のためのアンケートの実施！ (資料2・3)</p> </div>		
<p>◇アンケートを実施する時間を事前に確保する。 ◇保健部のメンバー等で分担し実施する。 ・調査の実施時間の確保 (教務主任) ・アンケート用紙の作成 (養護教諭) ・集計 (各学年担当)</p>		

<p>○事業の反省と引継の準備</p>	<p>◇保健部のメンバーと調査結果を分析する。 ◇調査結果の周知について関係者へ協力を依頼する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>事業内容やアンケート結果など情報の発信</p> </div> <p>◇保健だよりや学年だより「専門家の授業の内容」「アンケート結果」「感想」の掲載を依頼し、教職員全体と保護者に発信する。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>継続的した情報の発信で、職員や保護者の関心が高まるように努めた。</p> </div> </div> <p>◎事業の評価を行うと共に、次年度への引継の準備をする。</p> <p>◇関係者からの情報を集める。 ◇事業の要項や事業評価を整理する。</p>
---------------------	--

4 成果と課題

◎事業計画を示し、関係する係や教科の意見をできるだけ反映させるように心がけたことで、教職員の意識が高まり、活動が充実しました。

◎専門家の方の話を聞いたことで、生徒は勿論、保健部のメンバーや教職員の意識が高まったようです。

○保健部では、今回の経験を生かし、次年度は「心と性」をテーマに専門家を活用して事業を継続することとなりました。

○準備や運営を分担をしたことで、学校保健活動に対する保健部のメンバーの意識が高まったようです。



▲事業をこなすことにウェイトがかかり過ぎたようです。

▲生徒の実践力に結びついたかどうかは確認できていません。有効な評価の方法を見つけたいと思います。

▲基本的な生活習慣は、家庭の協力が不可欠です。今回の事業だけでは保護者への浸透は見られませんでした。

【資料1】

『生活習慣を見直すための専門家の活用計画』

1 ねらい 生徒自らが自己の生活習慣を見直し、健康な生活ができるようにするため、健康に関連する教科や、特別活動等に専門家を招いて学校保健活動の充実を図る。

2 組織 [保健部] 保健主事、養護教諭、保健体育科主任
学校栄養職員、各学年担当者、スクールカウンセラー

- ・企画運営 _____ 保健主事
- ・日程調整 _____ (教務主任)
- ・評価活動 _____ 各学年担当
- *講師派遣等の渉外事務 _____ 校長、教頭



3 開催内容

時期	テーマ	対象者	講師	実施時間	主担当
6月	「栄養と休養のバランス」	2学年	保健師	学級活動	2年担当、養護教諭、学校栄養職員
6月	「地域における疾病の状況」	職員 PTA	保健師	学校保健委員会	保健主事、養護教諭
7月	「正しい水分補給」	全校生	学校医	学校行事	保健体育科、養護教諭、学校栄養職員
10月	「食事のとり方と歯の健康」	1学年	学校歯科医	学級活動	1年担当、養護教諭、学校栄養職員
12月	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止」	3学年	学校薬剤師	保健体育	保健体育科、3年担当
12月	「メディアと健康」	全校生徒 保護者	大学教授 (医師)	学校行事	養護教諭、保健主事、PTA
2月	「尊い命、自分を大切に」	保護者 3学年	スクールカウンセラー	学級活動	養護教諭、スクールカウンセラー

4 準備・運営

- ア 講師との講義内容の確認 (養護教諭と各担当)
- イ 当日の時間割、生徒の行動計画(教務主任)
- ウ 当日の講師の動き (教頭、保健主事)
- エ 事後評価の実施 (各教科・各学年担当)
- オ 経費 (教頭)

5 アンケート、評価

(1) 生徒、職員アンケート	事業終了後、速やかにアンケートを行う。集計は保健部が行い、職員会議等で報告する。
(2) 事業評価	保健部で実施する。

【資料2】

() の生徒アンケート

〔回答者〕 生徒 (年)、 男 女

* (はい・いいえ) に○を囲み、その理由をお聞かせください。

1 今回のこの学習は分かりやすかったですか？ (はい ・ いいえ)
*それは、どのようなことですか？
()

2 今回のこの学習はあなたのためになりましたか？ (はい ・ いいえ)
*それは、どのようなことですか？
()

3 あなたは、今回のこの学習で健康に対する意識が変わりましたか？ (はい ・ いいえ)
*それは、どのようなことですか？
()

4 その他、感想や質問などあったら記入してください。

【資料3】

事業評価票

〔回答者〕 教師 () 係

1 今回のこの事業（講演・学習）は、生徒の健康課題の解決に向けて効果的であったと思いますか？
ア そう思う イ そう思わない ウ どちらとも言えない
理由 ()

2 今回のこの事業（講演・学習）の企画や運営についてお答えください。
①テーマ（ア 適切であった イ 適切でなかった ウ どちらとも言えない）
②講演内容（ア 適切であった イ 適切でなかった ウ どちらとも言えない）
③時期や時間帯（ア 適切であった イ 適切でなかった ウ どちらとも言えない）
④上記の理由や、その他お気づきの点があればお書きください。

3 本校の健康課題の解決に向けどのようなことが必要と考えますか？ご記入ください。

適確な情報提供で保健管理を充実（高等学校）

—身近な学校環境の維持・管理から教職員の意識改革へ働きかけた事例—

1 事例の概要

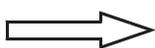
学校保健は校長の責任の下に教職員それぞれの職務の特性を生かし、また役割を明確にして計画的に進める必要がある。そのためには教職員が共通認識をもって動くことが大切になる。しかし活動によっては教職員の関心が低かったり、共通認識がうまく図れなかったりすることがある。

ここでは、教職員へ適確に情報提供することにより、保健管理の充実を目指した取組を中心に紹介する。

2 課題の把握と改善に向けた取組

【前年度の申し送り事項から】

学校環境衛生に対する教職員の意識や関心が低く、学校全体の活動につながりにくい。



- 各学年の保健部・学校保健委員会など組織を通して教職員の意識を高めたい。
- 様々な場面で教職員へのアプローチを行う。

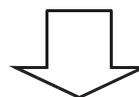


今年度取り組むために、課題を明確にする

【課題】

学校環境衛生に対する情報が関係者にとどまり、学校全体で共有できていない。

解決策は？

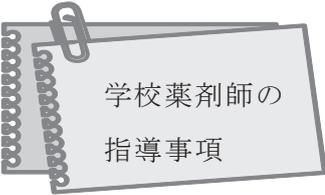
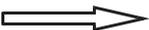


4月はじめの保健部会で検討。

※保健部（保健主事・養護教諭・各学年1名）

- 検査の結果を常に教職員へ提供することが大切なのではないか。
- 結果だけでなく、学校環境衛生の必要性や、検査の内容、法律の改正等についても適確に情報提供を行うことが必要だ。
- 教職員が毎日関わる教室環境から、取り組んでみたらどうだろう。
- 保健部を中心に、改善への取組を広げよう。

3 実 践

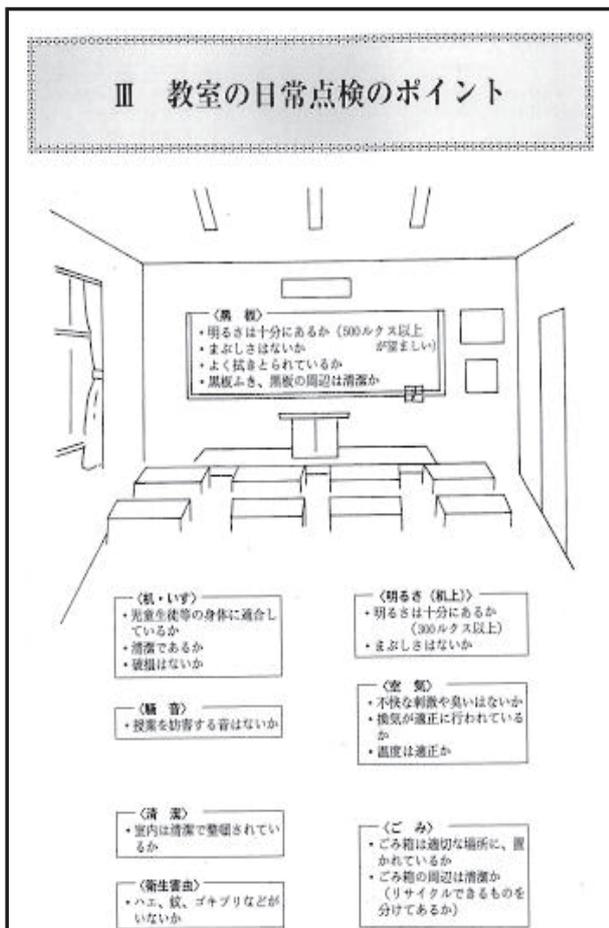
	校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇確認事項
4 月	<p>○保健部会の開催</p> <p>○校内企画委員会へ提案</p> <p>○職員会議</p>  <p>○保健部会の開催</p>	<p>◎今年度の課題への取組と活動方針の確認する。</p> <p>◇課題の確認。</p> <p>◇保健部を中心とした活動体制を明確にする。</p> <p>◇日常点検の徹底のための手立てを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常点検のポイントを示し実践化を図る。 ・報告や周知の流れを明確にする。 <p>◎保健部会での確認事項について提案。</p> <p>◎学校環境衛生について職員に共通理解を図る。</p> <p>◇日常点検を含めた学校環境衛生について。(養護教諭)</p> <p>◇担任や授業担当者が行う日常点検について。(保健主事)</p> <p>【ポイント・実施方法・実施時間など】</p> <p>→資料1・資料2</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>学校環境衛生について、項目の他に法的根拠やデータの見方、その対策についても共通理解を図る。</p> </div> <p>◎定期検査・臨時検査の実施に向けて役割分担ををする。</p> <p>◇各検査について保健部員の担当の決定</p> <p>◇学校薬剤師と連絡調整</p> <p>◇検査機関への連絡</p> <p>◇時間割の確認・検査場所の調整</p>
5 月	<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>環境衛生検査の実施（定期検査） 教室の空気・照度及び照明</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;">  <p>学校薬剤師の 指導事項</p> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・理科実験室における照度については、黒板の下部において基準に満たない箇所があった。照度確保のために早急の改善が必要と思われる。 ・二酸化炭素について問題はないが、休み時間の窓の開閉は積極的に行うこと。 </div> <p style="text-align: center;">  結果を管理職へ報告  改善への取組 </p>	

	<p>○保健部の開催</p> <p>○情報の提供</p>	<p>◎検査の結果を踏まえ、教職員への情報提供や、改善への取組について話し合う。</p> <p>◇日常点検や、定期検査の結果について学年部から教職員へ周知する。回覧の実施。</p> <p>◇改修が必要なものは、事務室へ連絡。</p>
<p>6月</p>	<p>○生徒保健委員会の活動</p>	<p>情報提供から次の活動へ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒保健委員会担当者から生徒の活動へ ・学校保健委員会の内容に反映 <div data-bbox="630 698 991 967" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1018 705 1433 958" data-label="List-Group"> <ul style="list-style-type: none"> ・教室の換気の点検を活動に位置づける。 ・照明器具の点検の実施。 ・照明の清掃の強化。 ・節電への対策等 </div>
<p>7月</p>	<p>○学校保健委員会での取組</p>	<p>◎学校保健委員会の協議内容の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校環境衛生を意識したテーマを検討 ・生徒自身の活動の場の設定 <div data-bbox="295 1173 737 1444" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="801 1178 1358 1429" data-label="Text"> <p>学校保健委員会の協議内容を踏まえ、PTA会報や、生徒会保健委員会による保健だよりを作成するなどして、教室環境についての留意点を全校生徒や保護者に配付し啓発する。</p> </div>
	<p>○保健部の開催</p> <p>○職員会議</p>	<p>◎一学期の活動内容や改善点を確認・評価し、二学期の活動につなげる。</p> <p>◇委員会との連携で行った改善策への取組や、効果的な啓発が行えたことの報告。</p> <p>◇「窓の開閉が適切に行われた」「全教室に乾湿温度計が設置された」「照明の清掃や扇風機の活用は節電にもつながった」など、プラスの評価が多かった。</p> <p>◇二学期の活動内容の確認。</p> <p>◎保健部で話し合ったことを報告し、共通理解を図る。</p>

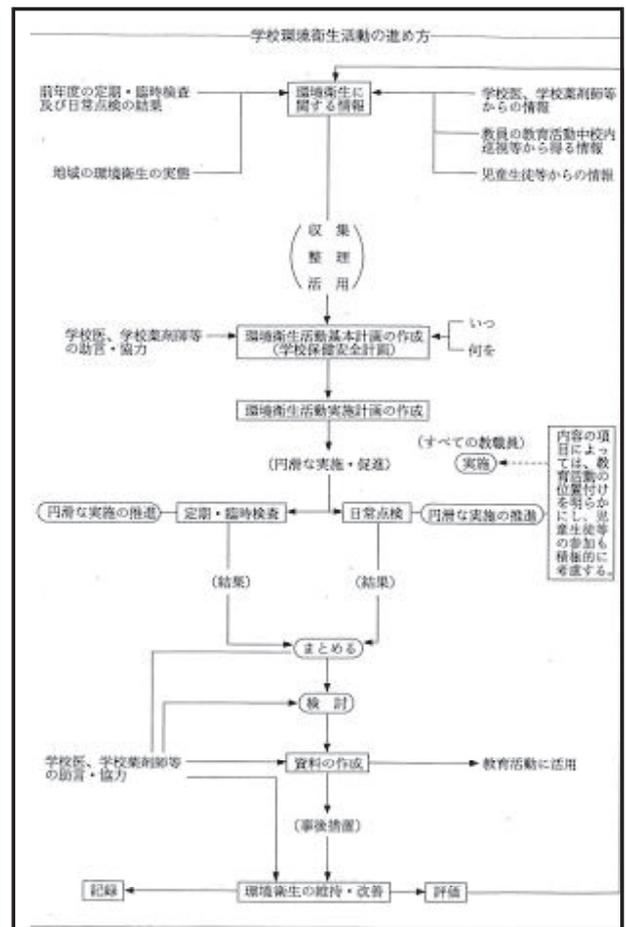
4 成果と課題

- ・学校環境衛生について教職員の意識や関心が低いという、前年度の反省をもとに活動に取り組んだ。必要な情報がうまく共有されていないのではないかという課題から、適確に情報を提供することを考えた。情報は何をどんなタイミングで提供するかが大切である。そこを踏まえ、教室環境を中心に、適確に情報提供することから働きかけたところ、気温や湿度について話題にされる等、教職員の意識の高まりの手応えを感じた。またその結果、生徒保健委員会の活動など次の取組につながっていったことも、大きな成果であったと感じている。教室環境という身近なところから働きかけたこともよかったのではないだろうか。
- ・今後これらを定着させ、さらに次の活動へどのようにつなげていくかが、今後の課題と考えている。

【資料 1】



【資料 2】



緊急時に備えたリーダーシップの発揮(小学校)

－熱中症への対応策を実践した事例－

1 事例の概要

昨年の夏は異常な猛暑に見舞われ、学校で熱中症になり病院に搬送されたケースが急増した。保健主事には日常の保健活動に目を向けることや、非常時にもリーダーシップを発揮して適切に対応することが求められる。本校では学校保健計画の保健管理の年間計画（6月）に、熱中症の予防を位置づけている。ここでは例年のない暑さに対応するために、保健主事として行う日常活動の他、緊急に熱中症に対応した取組を中心に紹介する。

2 実践内容

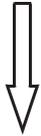
校 内 の 動 き		◎保健主事のうごき ◇確認できたこと
4	○職員会議	◎ 学校保健年間計画を提案し、緊急時のマニュアルや健康管理について共通理解を図る。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 気温が高くなり始める → 熱中症予防について提案 </div> 【日常活動】		
6	○運営委員会の開催	◎ 熱中症の対応策について提案する。 ◇緊急時の対応マニュアルの確認（保健主事） ◇熱中症予防の保護者あて啓発通知の作成 ・水筒の持参等学校の対応について（教頭） ・症状や予防・対応について（養護教諭）
	↓	◎ 熱中症の予防や配慮児童について養護教諭に情報提供を依頼する。
	○職員会議	◎ 熱中症の対応策について報告し共通理解を図る。 ◇熱中症の症状、予防法について（養護教諭） ◇健康観察の強化（担任・養護教諭） ◇水分補給の徹底 児童への直接指導（担任） 放送等の間接指導（教務主任）
	↓	
	○職員による実践	◇ 実践状況の確認

情報をいち早く収集し、リーダーシップを発揮できる知識を持つことが大切

捉えた健康課題に対する教職員の意識を高めよう！
ハンドブック
 P16



	【緊急対応】
	夏休み明けも、気温・湿度の高い日の継続
8 ○職員会議	◎職員会議で熱中症対策について再度確認する。
9 ○運営委員会の開催	◎運動会の開催に向け熱中症対策を緊急提案する。 ◇練習時間や練習場所の変更（教務主任・担任） ◇運動会当日のプログラムの変更（体育主任） ◇児童テントの確保・・・公民館より借用（教頭） ◇自由に飲める給水所の設置（用務員） ◇昼食時の校舎の開放（教頭） ◇緊急時における学校医との連携（保健主事） ◇保護者へ ・学校だより（校長） ・保健だより（養護教諭）
○職員会議	◎他に何か環境面でできる対策はないか相談する。 ◇扇風機を各教室に設置（校長、事務長） ・教育委員会やP T Aに相談 ➡ 各教室へ設置の実現
○反省・評価	◇西日が当たる教室への簾設置（事務長） ◎決定したことを報告し共通理解を図る。



保健主事の
マネジメント
↓
資源の調査
とその有効活
用をしよう。
ハンドブック
P 2 3

【保護者への協力依頼文書】

3 成果と課題

今までにない暑さの中で、校内ではこれまで以上の熱中症対策の必要性に迫られた。運営委員会の中でできる対策についてみんなで知恵を出し合い、役割を明確に分担することでスムーズな実践につながったと感じている。

また、ハード面では予算が必要な事も多く、教育委員会へ働きかけたり、P T Aの理解を得ることで実現できた対策もあった。

資源には人・物・金・情報等様々なものがある。学校保健活動のために周囲に活用できる資源がないかを考え、条件整備への働きかけを行っていくことも、保健主事が行うマネジメントの大切な部分であり、課題であると感じた。

平成〇年〇月〇日
〇〇小学校長

保護者 様

運動会猛暑対策について

初秋の候、皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。さて、運動会当日まであと少となりましたが、猛暑により当日体調を崩す児童や保護者の方が出ることを心配されます。つきましては、下記のとおり猛暑対策を講じ体調を崩す方が出ないように万全を期したいと存じますので御協力をお願いいたします。

記

- 児童に持たせるもの
 - 飲み物（**全員**）
 - ・スポーツ飲料
 - ・水
 - ・麦茶 など
 ※ 多めに持たせてください。演技の合間にお子様の水筒に補給して下さっても結構です。
 - 汗ふき用のタオル（**全員**）
 - 襟クールやひんやりジェル、冷たいタオル等の冷却グッズ（持参できる方。改めて買う必要はありません。）
 - 汗を大量にかくことも予想されますので、体育着の予備のある方は持たせてください。
- 昼食時のランチルーム、体育館の開放
 - ・入口・・・体育館は体育館玄関より
 - ランチルームは昇降口より
- 児童席にテントを張り直射日光を避ける。
- 備考
 - 運動会役員・保護者の方も暑さ対策には十分配慮して御参加くださいますようお願いいたします。
 - 当日の暑さと児童の様子によっては、プログラムの変更をいたしますので御了承ください。

組織活動を重視した感染症対策の実践(中学校) ～ 校内組織を見直し取り組んだ保健管理の事例 ～

1 状況の説明

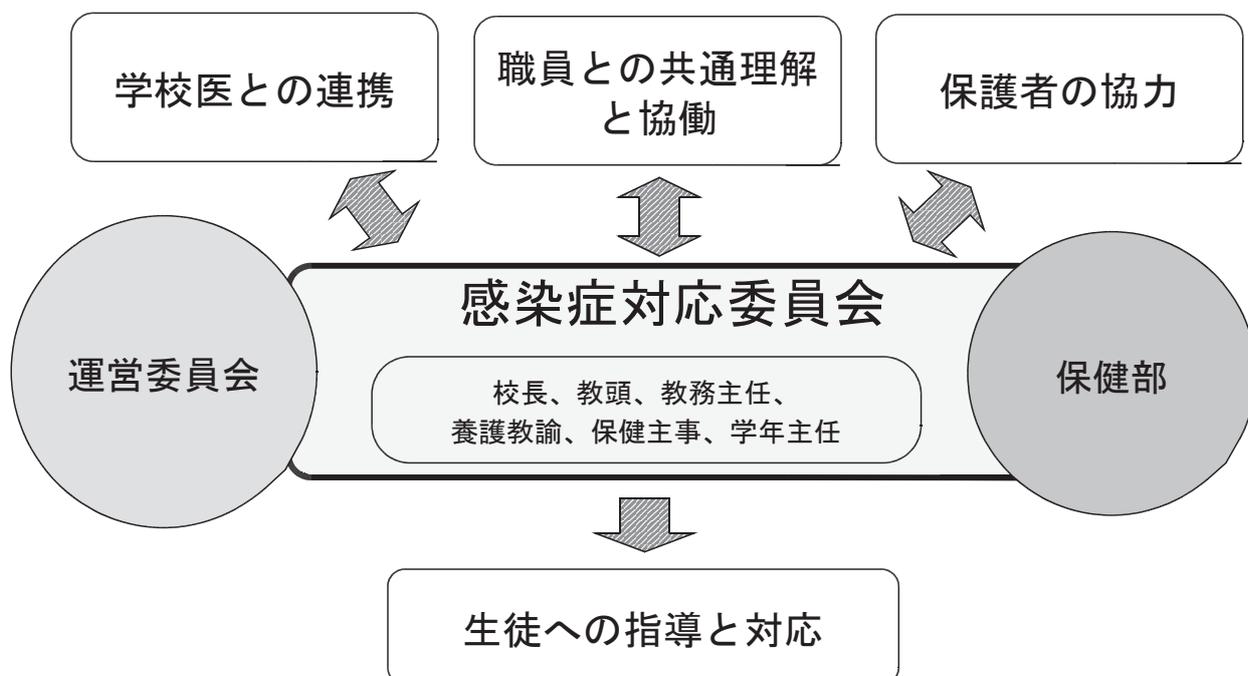
昨年度はインフルエンザや感染性胃腸炎の集団発生により、学年・学級閉鎖の措置を講じるなど長期間にわたり教育活動に支障をきたした。発生当初、一部の先生に情報が伝わらなかったり生徒への指導が遅れたりしたほか、学区内の小学校との対応にも差が生じたために保護者からの問い合わせが数多く寄せられるなど問題が生じた。その原因として、全体への指示が徹底しなかったことなどがあげられる。

ここでは、それらの反省をもとに校内体制を見直し、「感染症対応委員会」を設置して組織的な活動を重視して対応した取組の事例を中心に紹介する。

2 校内組織における感染症対応委員会の位置づけ

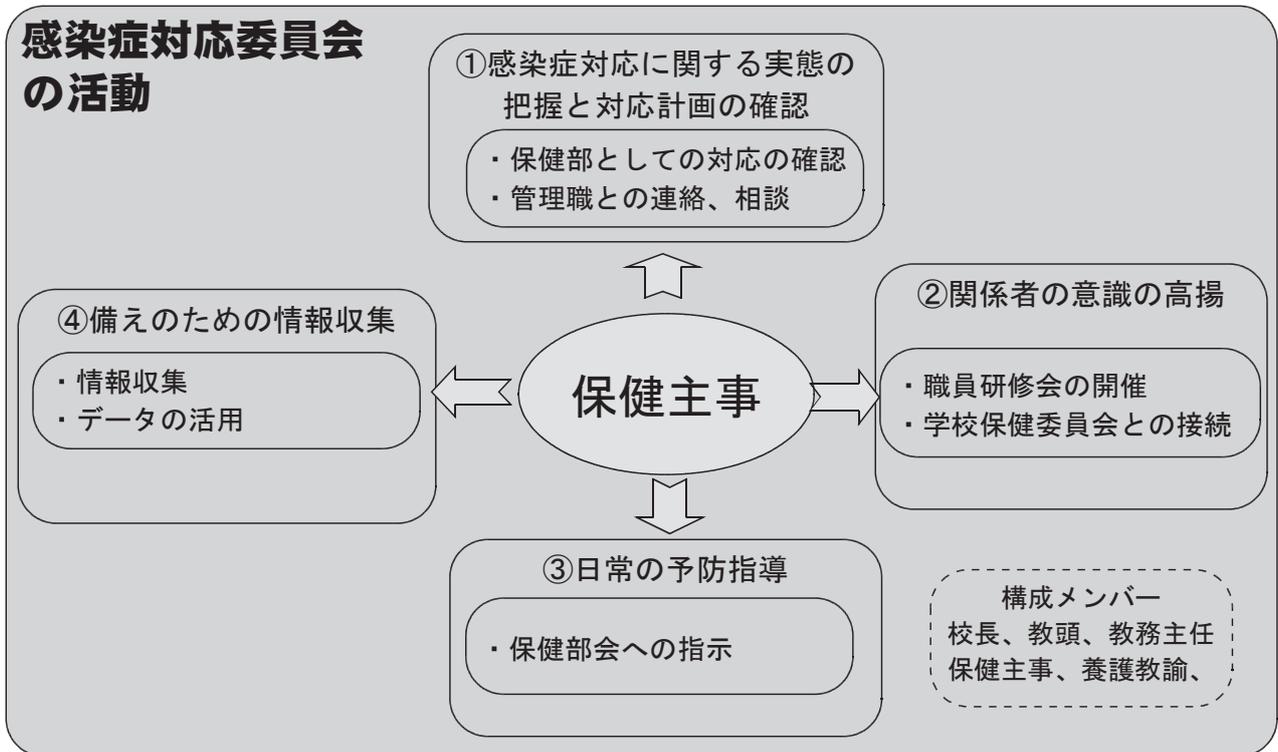
感染症の集団発生に対するこれまでの対応では、校長、教頭、養護教諭が協議し対策を講じてきたが、新たに保健主事、教務主任、学年主任が加わり、「感染症対応委員会」を設けて校内組織を整備し活動することとした。

これにより運営委員会と保健部が連携して機能することができるようになり、その中で保健主事がリーダーシップを発揮して、生徒の健康に関する情報収集や予防・感染の拡大防止の指示伝達がスムーズに行われるようになった。



3 保健主事の働きかけ

保健主事は、管理職や養護教諭と連携し感染症の集団発生に備える。具体的には、①感染症の対応に関する計画を確認したうえで、②季節性のインフルエンザの流行期の前に教職員、生徒、保護者の意識を高めること、③予防のための指導を充実させること、④感染の状況や生徒の健康状態など実態を把握することなどがあげられる。また、季節性のインフルエンザの流行期においては、保健部内で分担し対応することが重要である。



4 インフルエンザの感染拡大に備えた活動内容

	校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇配慮事項
6月	○感染症の流行の拡大を防止する体制整備	◎インフルエンザ流行期が訪れる前に管理職を交えて対策について話し合う機会を設定する。 ◇昨年までの反省を踏まえ「感染症対応委員会」の設置を提案する。(資料1)
7月	○学校医との連携 ①学校医への連絡方法 ②学級閉鎖等の目安の確認 ③流行の状況や対応方法 ④職員研修の講師依頼	◎学校医との連携を図り適切な指示を仰ぐ。 ◇学校医との日程調整を教頭に依頼する。 ← ◇学校医と確認した内容を校長へ報告する。

9月	○職員会 ○職員研修	↑	◎感染症への対応について協議し必要な事項を確認する。 ◇学校医との確認事項を報告する ◇各学年での健康観察の徹底を依頼する。 ◎学校医による職員研修を企画・運営する。 ◇時間の設定と、学校医との日程調整を教頭に依頼する。
10月	○保護者への周知		◎予防や感染の拡大防止について生徒や保護者へ周知する。 ◇養護教諭に依頼し、予防接種に関する啓発資料を配布する。 ◇学校保健委員会との接続を心がける。 ◇保護者会等で、養護教諭や学年担当から協力を依頼する。
12月	○流行期	必要に応じた「感染症対応委員会」の開催	
	○感染拡大防止の対応	↓	◎流行期における感染状況の把握や地域の情報を収集する。 ◇保健部の機能を生かし状況を把握する。 ◇欠席者報告用黒板を職員室内に設置する。 ◇保護者へ速やかに通知し、協力を依頼する。(資料2) ◎感染症対応委員会や学校医の指示・指導事項を確実に教職員と生徒へ伝える。 ◇学年や学級担任との連絡を密にとり情報を正しく伝達する。 ◇保健部のメンバーとともに、全校放送や学年集会など機会を見つけて感染拡大の防止について指導に努める。

5 成果

◎「感染症対応委員会」を設置したことで、職員の共通理解が図られるようになり、指導の統一と素早い対応ができるようになりました。



○学校医と事前に打ち合わせをしたことで、その後の連携がスムーズになり、感染症に関する情報提供や助言が得られるようになりました。

○資料2に示したように、感染症対応委員会が設置され、保健主事が主体的に関わったことで、保健部を加えて組織的な対応が可能となり、全校生徒の状況の把握や指示がスムーズになったことが大きな成果と言えます。

(資料1) 感染症対応委員会の概要

「感染症対応委員会」

- 1 **ねらい** インフルエンザ等の感染の拡大の防止並びにその恐れが生じた際に委員会を開き、必要な事項について協議し、運営委員会、保健部会、学年部会の組織を機能させて速やかな対応にあたる。
- 2 **メンバー** 校長、教頭、教務主任、保健主事、養護教諭、学年主任
- 3 **開催時期** 必要に応じて開催
* 流行期は毎朝8:30並びに必要に応じて臨時で開催
- 4 **活動内容**
 - ア 実態把握のための情報収集
 - イ 集団発生に伴う学級・学年閉鎖等の学校の対応についての協議
 - ウ 学校医との連携
 - エ 部活動や委員会活動などの実施の有無についての協議
 - オ 健康観察の重点事項の指示、資料の配付等
 - カ その他、感染の拡大防止のための取組に関する事項の協議

(資料2) 「保護者への通知文」

平成〇〇年〇月〇〇日

保護者各位

〇〇中学校長

インフルエンザ感染拡大防止についてお願い

保護者の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。さて、本校におきましてここ数日インフルエンザによる出席停止者が複数確認され、今後、感染の拡大が心配される状況にあります。

つきましては、下記により感染の防止についてご協力くださいますようお願いいたします。

なお、〇年〇組においては、インフルエンザ発症者とインフルエンザ様症状を訴える生徒が多く見られるため、学校医と〇〇市教育委員会の指導を受けて協議した結果、本日を繰り上げ下校、明日から〇月〇日までを学級閉鎖としましたのでお知らせいたします。

記

〔感染を防止するための対応について〕

- 1 うがい、手洗いの励行
- 2 食事、睡眠など基本的な生活習慣の充実
- 3 人混みを避けたり、マスクを着用するなど感染経路を防ぐ行動の実践
- 4 体調管理をしっかりし、体調の異変等への早期対応

〔感染又は感染が疑われる場合の登校について〕

- 1 インフルエンザと診断された場合は、その日（診断された日）から出席停止となります。
- 2 出席停止の期間は、発症後から5日を経過し、かつ解熱した後2日間程度が目安となります。

出席停止とは、学校保健安全法第19条において、「校長は、感染症にかかっており、かかっている疑いがあり、又はかかるおそれのある児童生徒等があるときは、政令で定めるところにより、出席を停止させることができる。」とされています。その際に、欠席扱いとはなりません。

心配なことや不明なことなどありましたら、学校までご連絡ください。

(〇〇中学校 電話 〇〇-〇〇〇〇)

学校保健委員会の活性化を図る(小学校)

—企画立案から保護者が参加して開催した学校保健委員会の事例—

1 事例の概要

保健主事の職務の一つに学校保健委員会の運営があげれる。学校保健委員会の活性化は学校保健活動を推進する上で大きな課題でもある。今回、その課題解決のためにPTAの組織を見直し、学校と保護者が学校保健委員会の計画の段階から協働するようにした。ここでは、PTA役員意識が高まり学校保健委員会の活性化につながるとともに、一般の保護者への働きかけも充実し始めた取組を中心に紹介する。

2 組織の見直しへの働きかけ

【前年度の課題】

学校保健委員会に対して、保護者の意識や関心が低い。



【年度末に相談】

企画立案の段階から、保護者が参加できる組織作りについて校長、教頭に相談する。



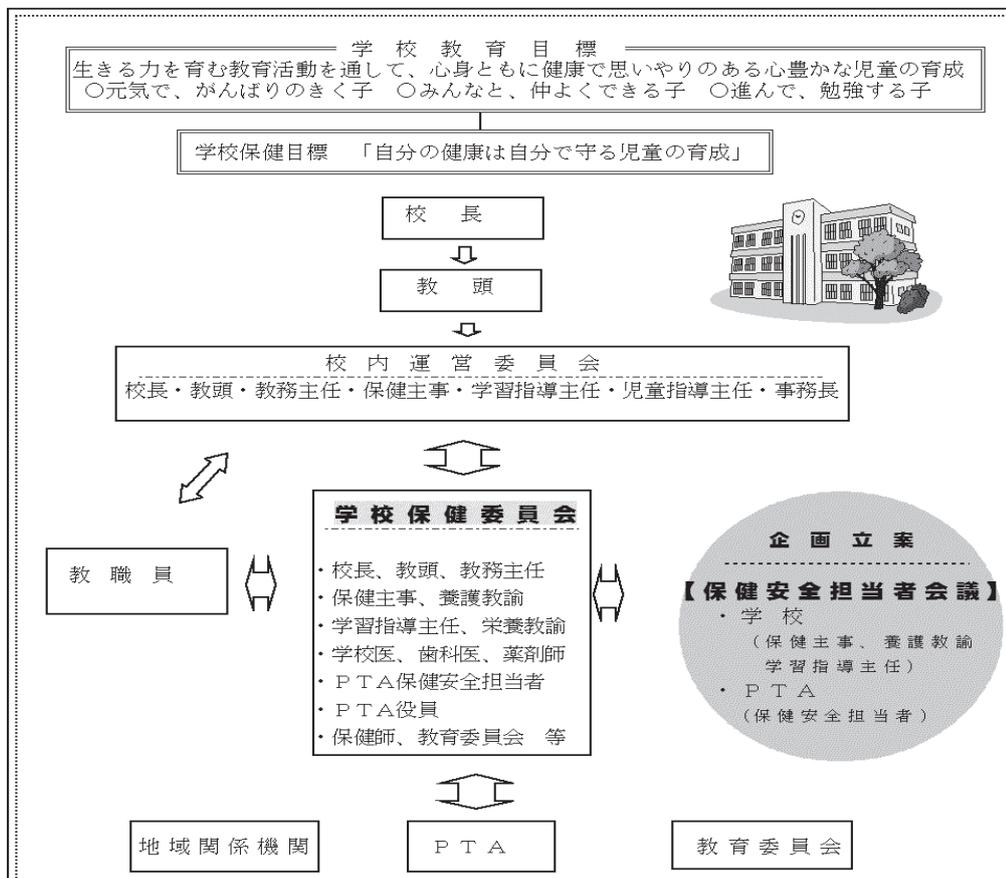
【検討】

PTAの役員組織の中に、担当する部を立ち上げてはどうか。



【PTAに提案】

PTA役員会で校長が提案し、PTAの中に学校保健委員会に携わる「保健安全担当者」が組織される。



3 実践

開催までの
手順を確認し
よう

ハンドブック
P 5 1

情報の収
集と開催方
針の決定



実施計画
や運営案の
作成

校 内 の 動 き	◎保健主事の動き ◇確認できたこと
<p>【4月】</p> <p>○PTA理事会</p> <p>・学校の保健安全担当者と保護者の担当者の顔合わせ</p> <p>PTA理事会</p>  <p>【6月】</p> <p>○保健安全担当者会議の開催</p>	<p>◎保健安全担当者会議について説明する。</p> <p>◇保健安全担当者の活動内容の理解</p> <p>◇学校側の役割と保護者側の役割について</p> <p>◇10月の学校保健委員会開催までの流れ</p> <p>◎学校保健委員会の開催内容について、保護者と学校とで協議する。</p>
<p>学校の健康課題を踏まえ、学校保健委員会の開催内容について、保護者とともに具体的に検討する。</p> <p>学校から年に3回発育測定した結果を「わたしの健康」に記録にして渡してもらっているが、子どもの発育が順調なのか、また肥満傾向の児童が増えていると聞くが本校の実態はどうなのか気になるところである。案外知られていない「子どもの発育」の基本的なことをテーマにしてはどうか。</p>	<p>◇今までの学校保健委員会について(保健主事)</p> <p>◇児童の健康課題や実態の提案(養護教諭から)</p> <p>◇気になること、関心のあることの提案 (保護者から)</p>
<p>○校内運営委員会の開催</p> <p>職員で連携して計画的に動こう！ ハンドブック P 5 0</p> <p>○職員会議</p>	<p>◎検討した開催内容について提案する。</p> <p>⇒ 検討した内容で開催の方向へ</p> <p>◇開催日時の調整(教務主任)</p> <p>◇講師の決定(校内運営委員会)</p> <p>◇講師との連絡調整(保健主事)</p> <p>◇派遣申請、案内通知等文書関係(教頭)</p> <p>◇講師・学校医・学校歯科医等、関係機関との連絡調整(教頭、保健主事)</p> <p>◇当日の資料作成(養護教諭)</p> <p>◎教職員に今年度の学校保健委員会の開催内容について提案、協力を依頼する。</p>

開催に向けての準備

○保健安全担当者会議の開催



- ・アンケートの内容の検討
- 職員会議

- ◎校内運営委員会で決定したことを報告する。
- ◎開催に向けて協議を行う。

保護者全体の意識を高め、より身近な課題として捉えるためにはどうしたらよいか。



◇保護者に対してテーマに関するアンケートを実施して内容に反映させてはどうか？

- ◎アンケートの協力を依頼する。(保健主事)

【9月】

- アンケートの作成(養護教諭)
- アンケートの実施(担任)

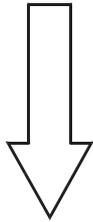


- ◎アンケートのまとめをもとに学校医との打ち合わせを実施する。

○保健安全担当者会議の開催

- 職員会議

- ◎10月の開催に向け最終協議する。
- ◇保健委員会当日の流れと役割の決定(受付、アンケートの報告などの役割分担)
- ◎学校保健委員会の開催について最終提案する。



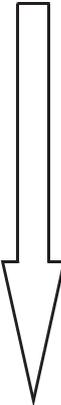
開催

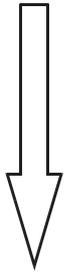
【学校保健委員会】

平成〇〇年10月〇日(〇)

14時～15時30分

- 1 あいさつ
- 2 参加者紹介
- 3 議 事 テーマ「身長と体重から見える子どもの発育について」
 - (1) 今回のテーマ選定にあたって(保健主事)
 - (2) 問題提起
 - ・学校の現状、健康診断の結果より見えるもの(養護教諭)
 - ・アンケートの結果(保護者・・PTA保健安全担当者)
 - ・現代の子どもの発育の様子について(学校医)
 - (3) 協議(参加者全員でフリートーク)
 - ・保護者・・・家庭の様子、保護者の視点からの提案
 - ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師・・・専門的立場からの助言
 - ・教職員・・・課題を解決するための提案
 - ・行政担当(保健師等)・・・地域の実態
 - (4) まとめ
 - ・課題の改善に向けての今後の取組の方向性を確認
- 4 その他





評価

<p>○保健安全担当者会議の開催</p>	<p>◎学校保健委員会開催後の活動を確認する。 ◇学校保健委員会だよりの作成（保護者・保健主事） ◇学年部会やPTA総会で内容を広く保護者に伝えていく。広報誌への掲載 （PTAの学年部長・広報部・保健主事）</p>
<p>・基本的な生活習慣、特に「質のよい睡眠」について家庭・学校で考える。 ・「生活がんばりカード」で子どもの生活を振り返り、実践につなげる。 ・発育で気になる時の相談機関等の紹介。</p>	
<p>○職員会議</p>	<p>◎職員へ、今回の委員会の内容について報告し、今後の活動について提案し実践化をはかる。 →【学校】・「生活頑張りカード」の継続 ・基本的な生活習慣の保健学習の充実 【家庭】・「生活頑張りカード」で生活の見直し。 ・「よい睡眠」のためにできること。 ◎委員会の反省と評価を行い、次年度への活動につなぐ。</p>
<p>○反省・評価</p>	

委員会の内容が、事後の活動につながるようにしましょう！

4 成果と課題

(1) 成果

- ・今回、学校保健委員会の開催にあたっては、PTAの組織への働きかけから取り組んだ。計画からPTA役員が参加し「共に考える」ことで、内容に関する提案や今後の取組が話題になるなど意識の高まりを感じた。また、PTAの学年部会で話題にしたり広報誌に載せるなど、その後の活動にもつながっていった。
- ・保護者へのアンケートを実施し内容に反映させることで、内容に深みが出るとともに、保護者がより身近な問題として捉えるきっかけとなった。

(2) 課題

今は学校保健委員会当日に活動の重点が置かれており、その後の活動まで視野に入れた部分の働きかけがまだまだ弱い。学校保健委員会の内容をいかに学校全体の活動に反映させられるかが今後の課題と考えている。

【学校保健委員会だよりのダイジェスト版】

学校保健委員会だよりの

「子どもの健康を考える」 ー身長と体重から見える子どもの発育についてー

このテーマで、さる10月18日(火)学校保健委員会を開催しました。当日は学校医・学校歯科医・学校薬剤師の先生、PTA会長を始め役員の方々、町の保健師、栄養教諭、学校の先生を含め約30名の参加者でした。今年度は子どもの発育に焦点をあて、保護者からのアンケート内容を基本に学校医の植木先生から講話を頂いた後、フリートークで意見交換を行い内容を深めました。保健安全担当の方々を始め、開催にあたってのご協力、ありがとうございました。今回の委員会で話し合われたことを、今後の学校保健にさらに生かしていきたいと思っております。

アンケート結果(複数回答)A

☆子どもの成長には運動・睡眠・食生活が基本である。これを整えるのは大人の役割。
 ☆睡眠では「質のよい睡眠」が大切。寝る時間も大切であるが、昼間運動して体が適度に疲れていること、寝る前のゲーム等で脳が興奮しないこと、部屋を暗くするなど、質のよい睡眠のためにできることはたくさんある。
 ☆低身長について
 身長は遺伝もあるがそれだけではない。年間の伸びがあまり少ない時は医療機関への相談することも必要。治療でできるものもある。
 ☆自分の体格がコンプレックスにならないように配慮しよう。(アンケートの結果)

- ・子どもの身長が伸びる時期はいつなのか。
- ・夜早く寝ると成長ホルモンがたくさん出るとは本当なのか。
- ・背を伸ばす食べ物はあるのか。
- ・肥満度の見方がよく分からない。
- ・骨の成長にいい食べ物はあるのか。
- ・サプリメントは意識して取った方がいいのか。
- ・体が小さいと骨の成長も遅いのか。
- 等

コラム： まねじめんとー3

「人は最大の資産である」を基本にして

様々な組織の活動は、その組織が蓄積してきた各種の資産や資源をベースにして営まれます。そのような資産や資源を将来的な構想のもとに調達し、保有していくことが必要になります。また、組織を取り巻く環境も視野に置いて、その可能性を検討することも必要となります。ヒト、モノ、金、情報などが基本的に相当しますが、さらに組織やその活動の特性によっては、時間、文化・伝統などを資源に加えて、効果的に活用することも重要になってきます。

そのような各種の資産や資源の中であって、「人は最大の資産である」は、ドラッカーの強い主張であり、ヒトの部分を最重要視する姿勢を象徴したものです。すなわち、組織的な活動は、周りの人々の力を活用してすすめるという協働が前提であり、また、人々が気持ちよく取り組んでもらうことや、仕事から大きな満足が得られるような、組織全体への目配りが必要性であることを説いたものです。

組織的に展開をすることが期待されている、学校保健活動においても、すべての児童生徒や教職員を、「最大の資産である」とする姿勢は共通のものとなりましょう。そのような基本姿勢から、保健主事にとっての強力なパートナーが多く得られ、好ましい方向に活動が展開し、大きな成果につながっていく……。何か、ワクワクし、元気がでてきますね。

人を大切にし、人の成長を願い、結果として人の集まりである組織が成長し、究極のねらいを達成させるには、やはり「人は最大の資産である！」ということでしょうか。

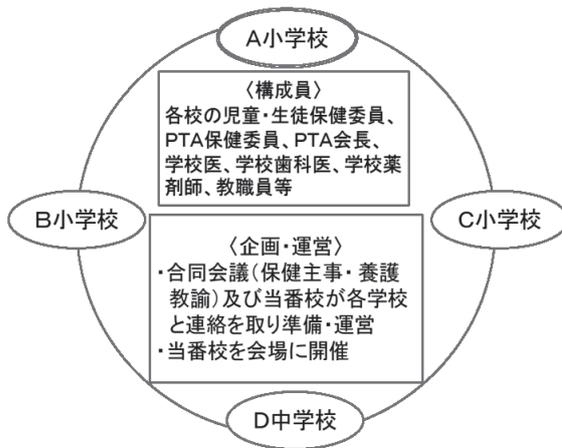
地域学校保健委員会を開催しよう

－中学校区内の学校で歯科保健活動に取り組んだ事例－

1 事例の概要

当地域では、各学校で行う学校保健委員会の他に、年に1回中学校区内の4校（小学校3校、中学校1校）で地域学校保健委員会を開催している。開催の準備や運営にあたっては、当番校を中心に合同会議を持ったり、電話やファックス等を活用して連絡を密に取り合ったりしている。テーマの設定については、4校の保健主事が集まって児童生徒の実態や健康課題、各学校の取組等を確認しあって決定している。ここでは、小中学校4校で歯科保健活動に取り組んだ事例を紹介する。

D中学校区地域学校保健委員会推進体制



* 「合同会議」とは、4校の保健主事や養護教諭が必要に応じて集まり協議する場を言う。

地域学校保健委員会

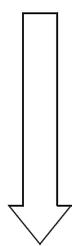
子どもたちの現代的な健康課題に適切に対応するためには、学校や家庭を中心に関係機関を含めた地域レベルの組織体制づくりが有効である。地域学校保健委員会では、各学校の共通する健康課題について地域をあげて検討でき、幼い子どもから中・高校生まで長いスパンで健康推進を図ることが可能となる。

これまでのテーマ

- 00年 「食事について」
- 00年 「健康な心について考える
-あいさつの輪を広げよう-」
- 00年 「歯の健康アップを目指して」
- 00年 「生活習慣と骨の健康
-今日からみんな骨元気-」

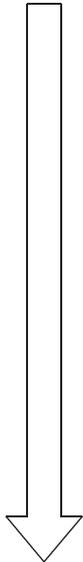
2 開催の流れ（A小学校：今回の当番校）

情報収集と開催方針の決定

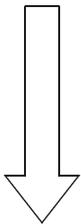


合同会議 (各学校保健主事・養護教諭)	各学校のうごき	当番校の保健主事のうごき (地域学校保健委員会関係)
<p><平成〇〇年度></p> <p>3月中旬 合同会議①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各校の健康課題や学校保健委員会の開催状況等を共通理解し、議題を決定 ・日時、会場、内容等検討 <p>ここがポイント！ 児童生徒の実態や健康課題、学校の取組等 を情報交換して、共通の課題が明確になった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自校の健康課題や学校保健委員会の開催状況等をまとめる。 ○合同会議①の内容を管理職等に報告・相談する。 ○保健部会で合同会議の内容の共通理解を図り、取組内容等を検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○合同会議の提案資料を作成し、保健部で検討する。 ○提案資料等地域学校保健委員会の開催について代表校長に相談する。

実施計画や運営案の作成



開催に向けての準備



開催



評価

〈平成〇〇年度〉

- 5月中旬 **合同会議②**
- ・新メンバーで顔合わせ
 - ・前回の協議事項の確認
 - ・日時、会場、テーマ決定
 - ・内容や方法（ワークシート、班編成）等運営案検討
 - ・各校の取組を発表
（運営案は会場校が中心となって作成する）

ハンドブックP50～53参照

- 6月中旬 **合同会議③**
（保健関係の集まり後を利用）
- ・運営案やワークシート検討
 - ・参加者の役割分担決定
 - ・班別の実験と内容等検討

👍 ここがポイント！
特別な時間を設定せず関係者が集まる会議後等の時間を有効に活用して打合せを行った。
また、電話やメール等を有効に活用した。

地域学校保健委員会

- 4月
- 保健部会で今年度の重点課題と具体的な取組内容を検討する。
 - 職員会議で自校の健康課題や保健活動の概要など確認する。

- 合同会議②の内容を管理職に報告・相談する。

6月上旬

第1回学校保健委員会
 [例：A小学校]
 歯科検診の結果を受け、歯、歯肉、かみ合わせ、歯並びなど学年ごとの課題や取組等について協議する

- 保健部会で運営案やワークシート、役割分担、実験内容等について確認・検討する。
- 合同会議③の内容を管理職に報告・相談する。

7月上旬

保健集会[例：A小学校]
 「歯の健康について」
 中学生保健委員が来校し、歯と口健康について児童にメッセージを送る

- 合同会議の実施、家族会議開催を呼びかける。
- アンケートや聞き取りを実施する。（児童・生徒、教職員、参加者）

- 保健部会で地域学校保健委員会の運営案等を検討する。
- 代表校長に運営案等について相談する。

- 学校医等やPTAの日程調整を代表校長に依頼する。
- 学校医等からコメントをもらう。
- 案内状や依頼状を作成する。（約1ヶ月前）

- 電話やFAX等で送られてきた運営案や資料等を保健部で確認・修正をする。
- 保健部会で資料作成等の準備をする。



- 会場準備等の中心となる。
- 和やかな雰囲気を作り、活動や話し合いが円滑に行われるように支援する。



評価の活用・改善

ここがポイント！
地域学校保健委員会
後にはきちんと評価するとともに、協議された内容を事後の活動につなげることが重要。

8月 **合同会議④**
 ・反省及び次年度の方向性についての話し合い

- 職員会議で地域学校保健委員会において協議された内容を報告する。
- 事後活動を行う。

[例：A小学校]

- ・保健委員による保健集会や教室訪問等による啓発
- ・担任と養護教諭によるTT授業の実施
- ・親子料理教室や給食試食会の実施

- 保健部会で次年度に向けて話し合う。
- 合同会議③の内容を管理職に報告・相談する。

- 各校の保健主事と連絡を取り合い、意見やアンケート等を取りまとめる。



保健集会の様子

3 当日の次第

D中学校区地域学校保健委員会

- 日時：平成〇〇年7月14日（木） 15：00～16：30
- 会場：A小学校
- 議題：「かんで みがいて 心も体もリフレッシュ」
- 1 開会・挨拶 司会（A小学校PTA保健委員長）
- 2 議題説明と発表
 - ・話し合いのねらい説明（A小学校保健主事）
 - ・提案発表（A小学校児童）
 - ・「先輩から後輩へ」（歯と口の健康について伝えたいことを中学生が小学生に伝える）
- 3 各学校の課題についての協議
 - (1) 自己紹介
 - (2) 議題や提案発表について意見交換
 - (3) 実践方法の確認
 - (4) 実践と記録 ※中学生は司会及び小学生への補助・助言
 - 1・2班「咀嚼力」～ガムを使って2分間の咀嚼力を判定する
 - 3・4班「かむ回数」～フランスパン、するめをかみ続け、かむ回数を機器を使い測定する
 - 5・6班「咬合力」～奥歯と前歯のかむ力を咬合力計を使って判定する
 - 7・8班「歯みがき」～歯垢染色剤を使って口の中の汚れを判定後、歯ブラシやデンタルフロスを使って歯をきれいにする
 - (5) 話し合い（実践からの反省や課題について）
 - (6) まとめ（今後の生活のあり方等）
- 4 感想や今後の目標などを発表（各班ごと）
- 5 指導講評（学校医）
- 6 謝辞（代表校長）
- 7 閉会



4 事後活動

(1) 教職員・参加者による合同会議及び家庭における家族会議の実施

地域学校保健委員会終了後その日のうちに、参加した教職員・PTA 保健委員による合同会議を持ち、成果等について話し合った。また、各家庭においては、参加児童や保護者が地域学校保健委員会の内容について報告し、家族で話し合う「家族会議」を実施した。

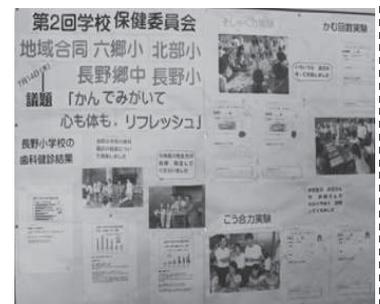
《教職員の意見から》

- ・視覚でははっきりとわかるガム、実際に噛む回数をカウントできる機器、噛む強さを数字で実感できる咬合力計などの実験を取り入れたことがよかった。
- ・小学生を前に健康づくりに取り組む姿を中学生が見せてくれたことは小中連携の意義があった。
- ・中学生の歯みがきの取組も知ることができ、将来につなげることができた。
- ・運営方法の共通理解がされ、メールや電話を活用して最小限の会議で運営できた。
- ・楽しい雰囲気の中で開催でき、次に自分の学校が当番になる楽しみが生まれた。



《保護者の感想から》

- ・普段から固いものを食事に取り入れて、丈夫な歯となるように努力したいと思う。両方の歯でバランスよく噛むことが大切だと思った。(咬合力班保護者)
- ・今の歯みがきでは歯に歯ブラシが行き届いていないところがあるのでデンタルフロスなどを使って磨いていくことを話し合った。(歯みがき班保護者)
- ・いっぱい噛んで「唾液」を出すことが大切だと思いました。普段の食事でたくさん噛んで噛むことを意識することを勧めたい。(咀嚼力班保護者)



「家族会議の様子」を廊下に掲示

(2) 児童・生徒へのアンケートの実施

児童アンケート集計結果 (A小学校 参加児童5年生10名 6年生9名)

- 1 自分の生活に役立ちましたか
- 2 活動や話し合いに積極的に参加できましたか
- 3 地域学校保健委員会のことを家庭で話題にしましたか
- 4 歯みがきをていねいにするようになりましたか
- 5 かむ回数に気をつけるようになりましたか

参加した児童全員が「はい」と回答しており今回の地域学校保健委員会の内容が有効であったと考えられる。

《主な自由記述から》

- ・奥歯の咬合力が弱かったので奥歯の咬合力がもっと強くなるように、これからは固いものをいっぱい食べたいです。(咬合力班児童)
- ・口の中はよくみがけていませんでした。でも、中学生のお姉さんたちに正しい歯みがき方を教えてもらったのでこれからも教えてもらった歯みがき方でみがきたいです。(歯みがき班児童)
- ・1回目に2分間いっしょけんめいかんだらピンク色でした。その後もう1分かんだら1回目より濃くなっていました。(咀嚼力班児童)

5 成果と課題

(1) 内容面に関する成果

○歯みがきの仕方や噛む回数など児童生徒の意識の向上がみられ、健康的な生活にするために生かそうとする態度が少しずつ育っている。

- 家族会議を開催したことで、献立を工夫したり、歯のみがき方や嘔むことを意識したりするなど家族の中にもよい変化が現れた。
- 合同会議や家族会議の内容、アンケート結果等を保健部で分析し、事後活動に生かしたことで次回の地域学校保健委員会につながった。また、各学校で活動の幅を広げることができた。

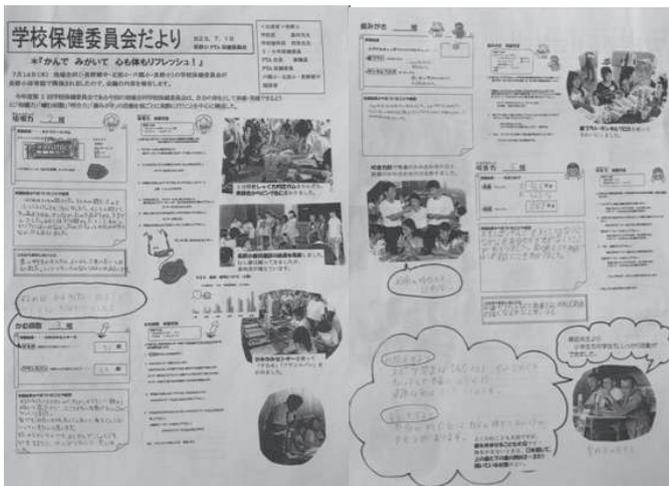
(例) 小学校 今回の実験を取り入れた内容を保健集会で9月に発表した。
 中学校 文化祭の保健コーナーで今回の実験3種の体験コーナーを企画した。

(2) 運営面に関する成果

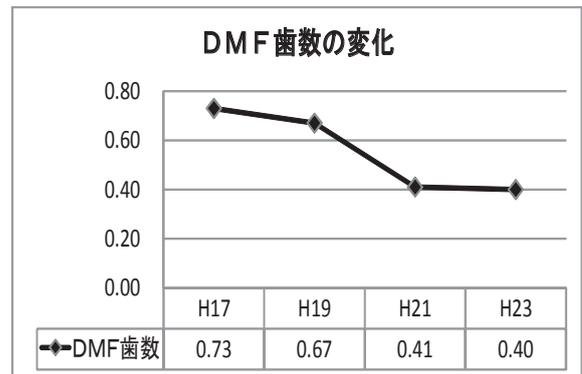
- 各学校の保健主事が情報交換や共通理解を図ったことで、共通の課題が明確になり、地域学校保健委員会の議題が決まり、意欲的な取組につながった。
- 無理なく継続した地域学校保健委員会にするために、集まる時間を工夫したり、メールや電話等を活用するなど連携の仕方を工夫したりしたことで、保健主事の負担や学校への影響を軽減することができた。
- 4校の教職員の連携や共通理解が深まった。また、家庭や地域の連携・交流が深まるとともに児童生徒に一貫した健康教育が進められ、児童生徒の生活の改善につながった。

(3) 課題

開催に当たっては、趣旨を踏まえ、さらに工夫して効率的に継続していけるようにする。また、4校で話し合ったことの実践化をより図る。



地域学校保健委員会だより



A小学校のDMF歯数の変化

保健主事として感じたこと

和気藹々とした雰囲気の中で合同会議が行われており、各校の学校保健委員会の取組や課題、悩み等を話し合ったり、認め合ったりして、理解・協力した取組ができることが推進力となっている。当番校は一応決めているが順番や集まり、連絡等について負担が少なくなるように協力して柔軟に対応しており、継続した取組につながっている。

各学校の特色が色濃く出て、他校の取組に接し、その方法を自校の学校保健委員会に取り入れることにより、教職員の意識が高揚し、自校の学校保健委員会の活性化につながっている。子どもたちも他校の取組に触れ、以前よりも意欲的に取り組もうという姿勢が見られるようになった。また、保護者の関心も高まり、学校・家庭・地域が一体となった健康教育の推進ができ、改めて地域学校保健委員会の有効性を感じている。

学校保健活動に「イノベーション」

イノベーション (Innovation) とは、一般的には、新機軸や技術革新などを示します。経済学や経営学の分野において、多く使われ始めたことばですが、その基本的な意味は、一般的な社会や生活における「新たな価値の創造」や「新たな満足の創出」などのように、より広範囲に適用されることばであり、考え方もあります。

すなわち、どの分野の行動や活動においても、従来からの伝統的な観念や枠を踏まえつつも、単にそれらにとらわれずに、積極的に新たな価値や新たな満足を生み出していくことの重要性を示しています。また、このことばは、新しいアイデアや製品及び技術などを創り出すことだけではなく、それらの新たな提案が、社会的に好ましい変化を引き起こすことや、社会や他の組織などに好影響をもたらすという意味も含まれています。

例えば、「もしドラ」のストーリーの中での「ノーボール・ノーバント作戦」は、このチームの独自の作戦であり、同時に従来の高校野球の在り方や、日頃の練習の在り方に対して、全国に一石を投じるという意味で用いられていました。また、私たちの現代の生活においては、半導体の発明を大きなイノベーションとして位置付けることができましょう。この半導体の出現により、多くの新たな産業が世界的に生み出され、同時に、コンピュータやインターネットの普及による、便利で快適な生活様式が世界中にもたらされるようになりました。

そのようなイノベーションの考え方で、学校保健活動を捉え直してみると、新たな方向へのアイデアが浮かんでくるのではないのでしょうか。例えば、保健主事が中心となって、引き起こす新たな保健活動のうねりが、従来の活動を変え、児童生徒をさらに成長させ、学校を変え、地域を変えて……。そして、さらには多くの教育関係者の意識の革命につながる「何か」が始まるような……。

生徒をやる気にさせて一歩前進（高等学校）

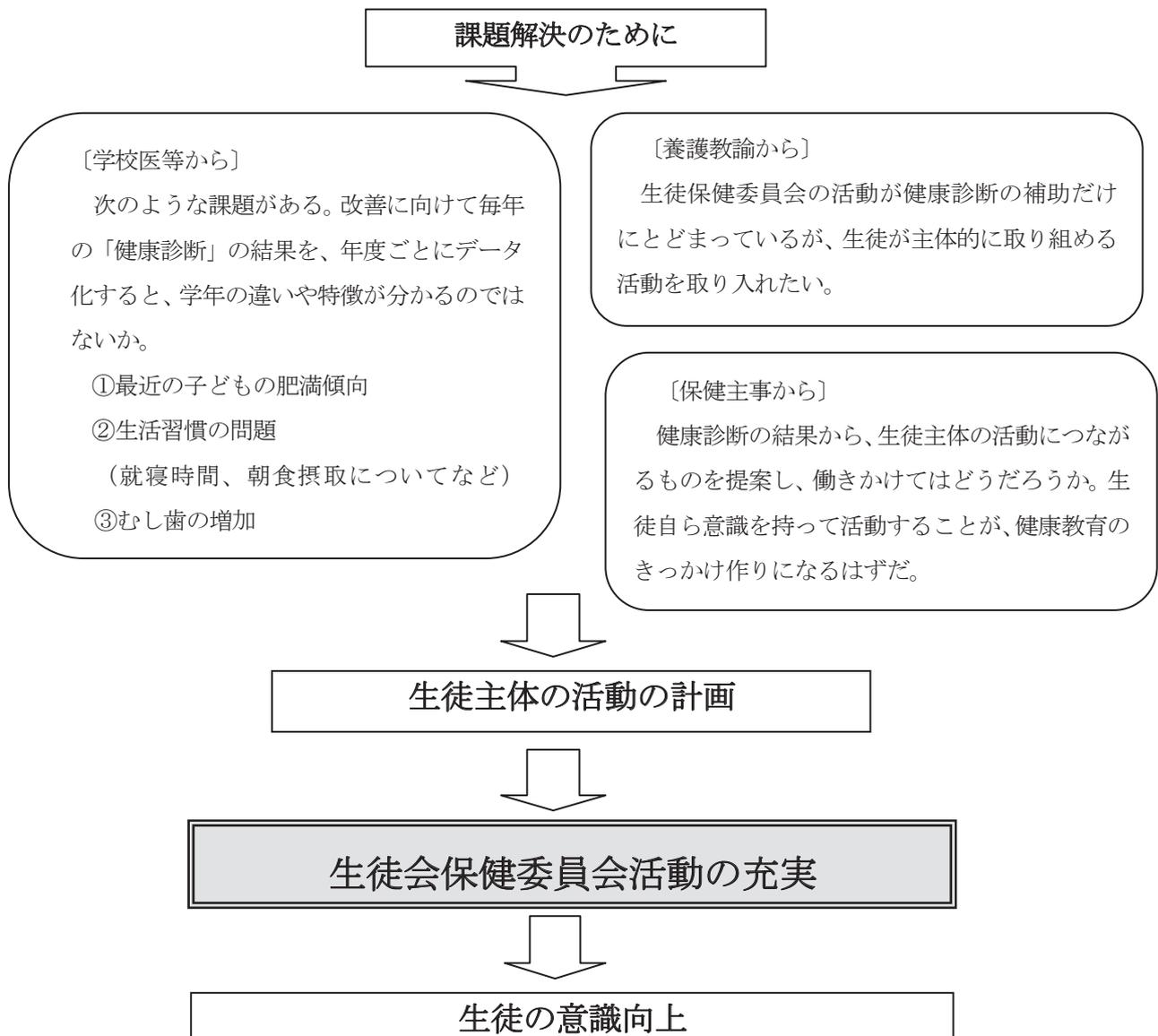
— 生徒保健委員会の活性化を目指して取り組んだ事例 —

1 事例の概要

養護教諭や学校医等との打合せの中から、生徒自身の健康に関する意識の低さや、いくつかの健康課題が話題となり、この状況を改善するには、生徒自身が積極的に保健活動に関わることが必要ではないかと考えた。

ここでは、生徒会保健委員会を活性化し、生徒の生活習慣の確立や学校の健康教育の推進につなげようとした取組を中心に紹介する。

2 課題の把握と改善に向けた取組の流れ

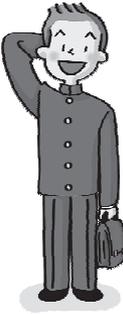
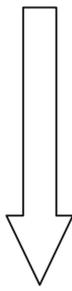


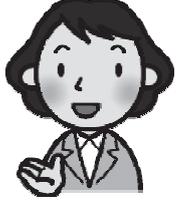
3 年間の活動予定

目的：生徒保健委員会の活性化

時 期	実 施 内 容
4 月	生徒保健委員会の初顔合わせ
5 月	(企画) こんなことが出来るのでは・・・健康診断、調査の分析
6～7月	健康に関する調査の実施・・・アンケート作成、実施（集計作業）
9 月	(発表1) クラス内での集計結果の発表
10 月	学校保健委員会で「集計結果」について考察・分析
11 月	(発表2) PTA総会（ミニ集会）で考察を加えての発表（代表生徒）
12 月	発表についてアンケート調査の実施（次回の資料・検討事項）

4 活動内容

時 期	○校内・生徒のうごき（活動の流れ）	◎保健主事のうごき ・留意点
4月頃	<p>○生徒保健委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初顔合わせ並びに問題を提起する。  <p>例年の健康診断の補助だけでは物足りないな・・・</p> <p>生徒保健委員会のリーダーには、意義ある活動であることを事前に伝えました。生徒にやる気を持たせることが大事です。</p>	<p>◎生徒会担当者と協議し、活動の方針を検討する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な活動を「期待している・・・」ことを伝える。 
5～6月頃	<p>○生徒保健委員会（活動の企画）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経過（昨年の学校医との話）や今後、やる気があるならこんな事ができると伝え、生徒と十分な意見交換を行った。  <p>生徒の本音は「めんどくさい」かもしれません。「でも、できたらすごい」「できるのではないかな」と前向きな気持ちをいかに持たせるかが腕の見せ所です。</p> <p>生徒の話し合いから生まれたテーマ。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>健康に関する意識調査を行い、生徒保健委員会として発表しよう！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校医の協力が得られる」「生徒全体にも役に立つ内容である」ことを伝え意欲を持たせる。 <p>◎管理職・教務主任等に報告し助言を得る。</p> 

6月	○各クラスにおける発表の機会の検討 (各クラス内：LHR・総合の時間を利用、PTA総会時、ミニ集会時)	・生徒自身に考えさせる。
6～7月頃	○生徒会保健委員会〈作成〉 ・ アンケートの作成 「健康に関する意識調査」を行い今後比較検討することとした。 ・ アンケートの実施 係としては無理せず集計までとし、考察等は学校保健委員会にて検討することとした。	・内容については養護教諭の協力を得る(朝食摂取・就寝時間・睡眠時間など)。 ・係の生徒が自分のクラスにて調査の意義や行い方について説明する。 ・その後、集計作業を進める。
9～10月頃	○生徒会保健委員会〈報告〉 ・集計した内容を自分のクラスで報告する。	
	 <div data-bbox="584 882 1193 1120" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-left: 20px;"> <p>思った以上にクラスメートが真剣に発表を聞いてくれました。保健委員会のメンバーは、「これからも頑張ろう」とみんなやる気がでたようです。</p> </div>	◎養護教諭とともに、担任に実際にクラス内で説明が行われたか確認をする。
10～11月頃	<div data-bbox="544 1312 1023 1509" style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>生徒が生徒に緊張感を持って語りかけているので、発表者も、聞く生徒も、真剣な様子でした。</p> </div> <p>〈相談・検討〉</p> <p>○学校保健委員会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・協議の場の設定〔参加者：保健主事・養護教諭・学校医・教頭・(生徒代表)にて〕 ・考察等を加え、生徒保健委員会として(PTA総会・ミニ集会)にて発表する事を決定した。 	 <p>◎保健主事として企画・運営する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年間の健康診断のデータを参考にしながら「健康に関する意識調査」結果も加え検討を行う。 ・考察をもとに発表に向けて資料の作成を進める。

	<p>〈発表〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA総会（学校ミニ集会）での発表 生徒保健委員会として発表を行った。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>代表の生徒は、今までにない緊張感の中での発表となったが、全力で発言していた。</p> </div>	<p>〈依頼〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表の最後に学校医に講評を依頼する。
発表後	<p>○生徒会保健委員会〈次回への方向性〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表内容等についてアンケートにより回答してもらった。 	<p>◎PTAの広報誌に掲載するよう依頼した。</p>

5 成果と課題

◎生徒に意欲を持たせ、生徒の主体的な活動につなげたことで、多くの生徒が保健活動に対する関心を高めたようだ。「やる気」を持たせることは大事だと実感した。

○保健委員会の活動から、生徒会総会や学校保健委員会へと活動の場を広げることで、生徒の活動が活性化するとともに教職員や保護者の意識も高まった。

○PTA活動をはじめ保護者の協力が目に見え、学校全体が活性化した。

○データの蓄積を継続的に行った。これを毎年行うことにより、問題点や改善点が明確になるので、今後さらに工夫していきたい。

○生徒の活動が活発になったことで、学校医等の助言を得やすくなった。

「マーケティング=交換」の重要性

一般的なビジネスに関わるマネジメントにおいては、マーケティングという活動が重視されています。マーケットとは、人々が自分の欲しいものと、そのものに見合ったお金を交換する場所のことであり、「市場」といわれています。マーケティングとは、そのような市場での取引を活発にさせるための様々な活動の総称になります。

また、現代においては、ビジネスだけにとらわれずに、様々な分野の活動においても、そのような用語がよく用いられています。それは、単にビジネスでの経済的な側面だけではなく、その背後にある「交換」の意味に着目をし、広範囲にそのメカニズムを活用しようとするものです。広く価値交換や影響交換なども含めて考えられています。例えば、行政などの公共のサービスと住民の満足、選挙活動における支持者へのメッセージ発信、就職活動の支援やボランティア活動の普及・促進などのように、多くの活動も対象となっています。

学校保健活動は、児童や生徒の心身ともに健やかで明るい生活を願う最も基本的な活動です。そのような活動の究極の成果は、主役としての児童や生徒（消費者）にもたらされるものであり、様々な学校教育活動を通して効果的に働きかける側（提供者）とのわかりやすい価値交換の仕組みとその展開のあり方が重要になります。

児童生徒の状況やニーズと学校保健活動のミッション（使命）や願いを、どのように「交換」させていくのか、また各種の取組のプロセスで、彼らの主体的な活動や行動をどのように活用するのか、そして、派生的な効果や究極の目標にどう結びつけていくのか……。

マーケターとしての保健主事の試行錯誤は尽きないものとなりましょう。

効果的な保健部会の運営(高等学校)

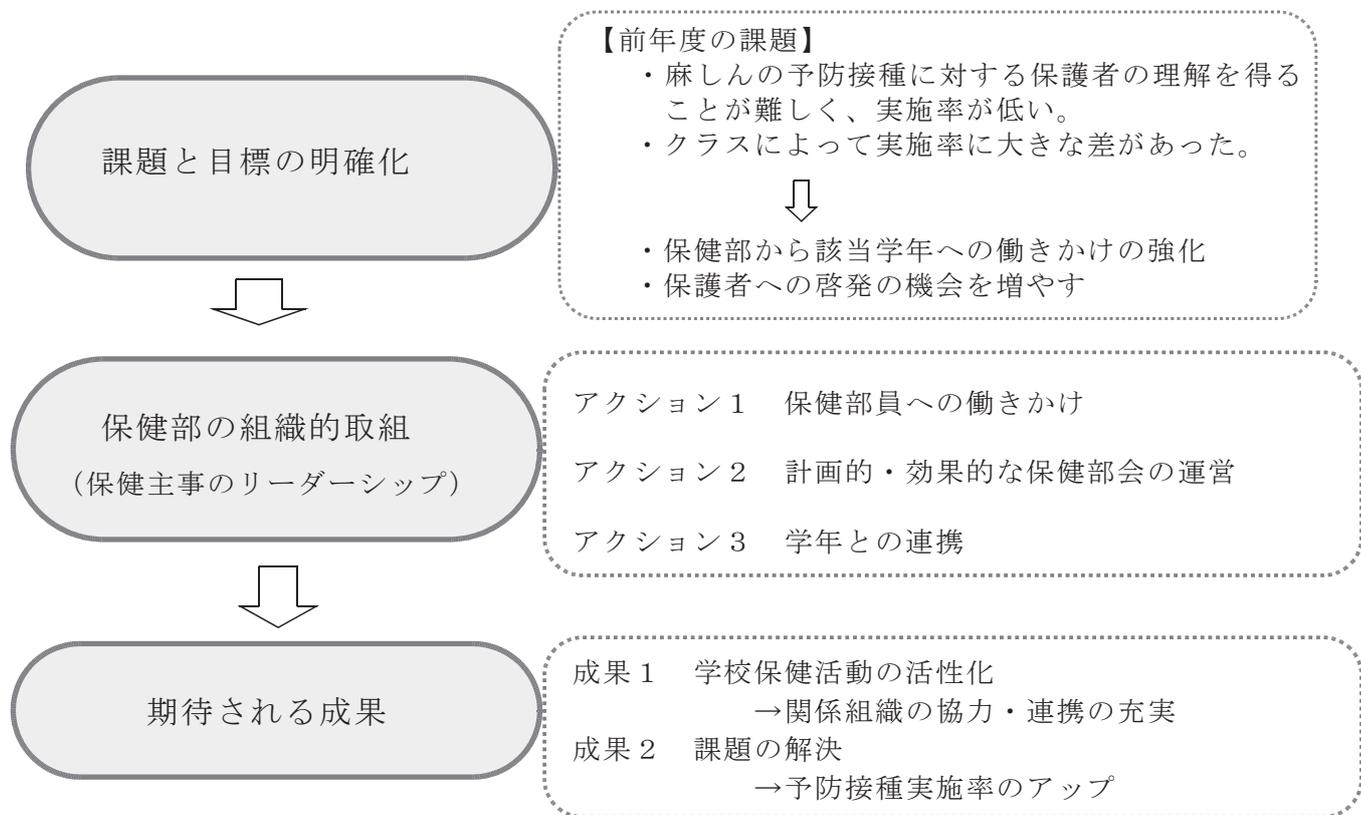
－予防接種の実施率を上げた保健部の取組－

1 事例の概要

学校保健活動を推進するには、保健活動の中核となる「保健部」と、関連する他の校内組織と綿密に連携させ、組織的な活動として十分に機能させることが重要である。保健主事がリーダーシップを発揮し、保健部をいかに機能させるかが学校保健活動の鍵とも言える。

ここでは、保健主事のリーダーシップのもと保健部が組織的に動いたことで、麻疹の予防接種の実施率アップにつながった取組を中心に紹介する。

2 課題の把握と保健部への働きかけ



3 保健部の組織的取組のために

(1) アクション1 保健部員への働きかけ

- | | |
|------|---|
| 見通し | ・保健主事として一年間を見通した計画の提案 |
| 根回し | ・部員の状況を観察。最も適切と思われる人材は
・誰に何を、どのタイミングで依頼するか |
| 共通理解 | ・一年間の保健部の活動計画
・活動の役割分担、責任者の確認 |

「誰に担当してもらおうと組織にとってベストなのだろうか」「気持ちよく取り組んでもらうためには」など、部員の特性に配慮することも大切です。



(2) アクション2 計画的・効果的な保健部会の運営

時間の確保

- ・部会の開催日は年間に位置づけ、計画的に開催。
- ・先生方の空き時間等を活用した開催時間の設定。

開催の工夫

- ・会議前には、クリップボードを活用して事前に議題を知らせる。
- ・時間内に解決できる議題の設定。

目標の設定

- ・到達目標を具体的に示す。

記録・報告の明確化

(3) アクション3 学年との連携



3年部会への働きかけ

働きかけの流れを整理する。
保健部（3年保健部員）→3年部会→担任

4 実践

	校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇保健部のうごき
4月	<p>○保健部立ち上げの前に</p> <p>○第1回保健部会</p> <p>○第2回保健部会</p> 	<p>◎「学校保健計画」の作成を進める。 →「保健部」の活動計画についての提案準備</p> <p>◎一年間の活動計画について提案し、活動の見通しについての共通理解を図る。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・学校保健計画の中での保健部の役割について ・会議の持ち方や、活動方法について ・個々の役割分担について </div> <p>◇今年度の重点課題について明確にする。</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>今年度の重点課題について明確にする。</p> <div style="text-align: center;">↓</div> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、麻しんの予防接種の実施率においてクラスごとの差が大きかった（30%～90%）。 ・保健部が中心となって学年全体で予防接種率を上げたい。 </div> <p>◎実施率アップを目指した、保健部会の一年間の取組と役割分担の共通理解を図る。</p> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>【3年部会との連携を中心とした取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年保護者対象に資料を活用した啓発の実施。 ・予防接種状況調査の実施 ・未接種者への指導 </div>

<p>5月</p> <p>○第3回保健部会</p> <p>○3学年部会の開催</p>		<p>◇保護者への啓発資料を準備する。</p> <p>3年部会との連携</p> <p>◇保健部から、麻しんの予防接種の実施率を上げるための計画を提案する。 資料1</p>
<p>6月</p> <p>○教育相談週間</p>		<p>◇保健部で用意した資料を用い、担任が次のポイントを押さえ保護者に予防接種の必要性を啓発する。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・麻しんの予防接種の必要性 ・高校3年生は無償で受けられること ・進学先によっては、接種の有無の報告が求められること </div>
<p>7月</p> <p>○3学年生徒集会</p>		<p>◇夏季休業前の保健指導で全体に啓発する。(3年保健部員)</p>
<p>9月</p> <p>○予防接種状況の確認</p>		<p>◇夏休み明けの予防接種の状況を確認し、クラス毎に一覧表を作成(母子手帳や接種証明書の提出による確認)する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 担任 → 3年保健部員 → 保健部 </div>
<p>10月</p> <p>○予防接種状況調査</p>		<p>◇3年生全員を対象に接種状況を調査する。 資料2</p> <p>◇調査の集計と考察を行う。(3年保健部員・養護教諭)</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  <p>麻しん予防接種の実施率の中間報告</p> </div> <div style="border: 2px solid gray; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 昨年 27.4% → 今年度 60.7% </div>
<p>11月</p> <p>○未接種者指導</p>		<p>◇卒業式まで継続し指導にあたる。</p>
<p>12月</p> <p>○保健講話の開催</p> <p>○学校保健委員会の開催</p>		<p>◇未接種者に対して担任・養護教諭が個別指導を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 接種者の把握 担任→3年部会→保健部 </div> <p>◎麻しんの予防接種状況について、PTAの保健部員や関係職員へ報告する。</p> <p>◇生徒を対象に「感染症(麻しんや性感染症等)」についての講演会を実施する。(3年保健部員・養護教諭)</p>
<p>3月</p> <p>○保健部会まとめ</p>		<p>◎今年度の取組結果の報告と次年度の課題の検討を行う。</p>

5 成果と課題

【保健部員から】

保健部員の役割が明確だったので動きやすかった。

また、保健部会で進捗状況のこまめな報告があり、焦らずに仕事をすることができました。



【3年担任】

保健部で啓発資料を作成したり、取組を明確に示してくれたりしたので、保健部員を中心に3年の担任全員が同じように動くことができました。その結果が、実施率のアップという結果につながったのだと思います。

【保健主事】

課題を明確にし、保健部員の役割を明確にすることが、保健部のスムーズな動きにつながった。今回は3年の保健部員を中心に3年部会に働きかけ活動を展開した。「誰からどう働きかけ、どう動いてもらうのか」という見極めも、保健主事の重要な役割であると感じた。

また、活動の成果が「実施率のアップ」という目に見える結果で現れたことが、保健部員のモチベーションをあげる大きな要因となり、次の活動の意欲につながったと感じる。

【資料1】

学年会資料 (6月)
保健部

麻疹 (はしか) の調査について

1 理由
進路先で予防接種の証明書が求められるところが出てきている。また、高校3年生ははしかの予防接種を無料で受けられるので、なるべく接種させたい。(今年度で無料期間は終了します)
さらに、本校の接種率は5割程度(平成21年度卒業生)で市内でも低く、生徒の今後の生活を考え、保健部でもなるべく無料の時に接種を促したらどうかと考えている。

2 手順
6月 保護者面談期間中に予防接種の依頼をする。(配布物あり)
★高校3年生は無料で予防接種が出来ることを保護者へ伝える。4月になると1~2万円程度かかります。
★予防接種は過去の接種、罹患等に関わらず全員が義務で接種するよう、厚生労働省から通達がありました。(3年前、無料事業の取り組み実施通達の際)
★大学や就職先によっては接種証明書が必要なこともある。

7月
夏季休業中にははしかの予防接種を保護者へお願いする。

9月 2学期当初、予防接種をしたか確認をする。
★接種証明書または母子健康手帳を担任に提出⇒担任は確認後、クラスごとの一覧表を学年保健部へ提出する。(9/24(金)締切)
★学年保健部は保健主事にまとめて報告する(9/30(木))

10月下旬
予防接種の有無を調査(全員対象)→11/5(金)締切

11月
未接種生徒への指導
担任は接種者を順次、学年保健部に報告する

12月
未接種者への指導
担任は接種者を順次、学年保健部に報告する

1月
接種者の確認、学年保健部へ報告→1月学年末考査最終日

2月(家庭研修)
登校日等で接種者の確認及び、未接種者への指導

3月(登校日;卒業式予定日)
最終確認

【資料2】

平成 年 月 日

保護者 様

麻疹 (はしか) 予防接種の状況調査について (お願い)

高等学校長

清秋の候、皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃本校の教育活動に対し格別なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度3年生は麻疹の予防接種が無料で受診できます。現在では進路先の会社や大学等で予防接種の受診を確認するところもあります。本校でも予防接種を働きかけておりますが、まだ、接種終了者が2割にも達しておりません。4月以降になりますと、予防接種の料金が掛かって参ります。是非、無料の期間内に多くの生徒に予防接種をしていただきたいと考えております。是非、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、今回予防接種の状況を確認させていただきたいと存じますので、調査項目をご記入の上、平成22年10月22日(金)までに提出下さい。よろしくお願いたします。

----- 切り取り -----

麻疹 (はしか) 予防接種の状況調査

3年 組 番 氏 名 _____

保護者氏名 _____ 印

①今まで(子どもの頃)に麻疹にかかったことがある (はい・いいえ)

②麻疹の予防接種を受けた (はい・いいえ) *今までに麻疹にかかっていても接種が必要

接種証明書(母子健康手帳)を担任に確認してもらった (はい・いいえ)

いつ提出する予定ですか

いつ頃予防接種の予定ですか

その他(特記事項等ありましたらお書き下さい)

2. 研修会開催までの経過と確認できた事項

時期	校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇確認できたこと
4月1日	分掌組織会議（保健部） ・保健目標と重点事項の確認 ・分掌内の役割分担等確認 ・その他	◎保健部員に、学校保健計画については成果と課題を踏まえて内容を改善する方向で推進し新規事業として「心の健康問題に関する研修会」を実施することを提案する。
4月2日	研修主任との連絡調整	◎保健部で企画する研修会への協力依頼する。 (研修主任から) ◇研修計画に現職研修として「心の健康問題に関する研修」を位置づける。 ◇研修部予算から経費を確保する。
4月3日	4月定例分掌会議（保健部） 時期、内容、講師、参集範囲	◎研修会の内容等について協議する。 (保健部会から) ◇実施時期は教務主任等と相談が必要。 ◇虐待や発達障害に起因する心の健康問題について精神科の専門医に講師依頼する。 ◇本校職員、PTA会員、児童養護施設職員、町内の各小中学校の職員
4月3日	教務主任との連絡調整	◎実施時期等について相談する。 (教務主任から) ◇夏季休業中の8月20日前後に開催可能。
4月6日	管理職への報告・連絡・相談	◎研修会計画案について指導・助言を依頼する。 (校長から) ◇対外的活動など管理職も率先して動きたい。 (教頭から) ◇PTA研修部ともタイアップさせてはどうか。
4月7日	職員会議での計画説明	◎学校評価結果や養護教諭の作成した資料を示しての実施計画の説明する。 (校長から) ◇児童養護施設の園長先生に話を通しておくので、事業説明に出向いてほしい。 ◇町内の各小中学校にも開催案内することを次の町校長会で話したい。

		<p>◇外部との連携については、教頭と連携して進めてほしい。 (教頭から)</p> <p>◇児童養護施設への説明に教頭も同行する。</p> <p>◇PTA会長役員会、参観日でもPRする。</p> <p>◇対外的な書類については、教頭が作成する。 (教職員から)</p> <p>◇多くの子がかかりつけ医となっている児童相談所の嘱託精神科医であれば、実態を踏まえて講義してくれるのではないか。</p>
4月9日	児童養護施設への事業説明	<p>◎説明に出向き(教頭と)協力を依頼する。 (施設園長から)</p> <p>◇勤務のシフトを工夫し職員を多数参加させる。</p> <p>◇参加できない職員に研修内容を伝達する。</p> <p>◇児童相談所の嘱託医に講師の打診をする。</p>
4月13日	講師内定の連絡と報告	<p>◎講師の内諾を受け、校長へ報告する。 (施設園長から)</p> <p>◇講師から8月18日で内諾が得られた。会場は病院の会議室でお願いしたいとのことである。 (校長から)</p> <p>◇講師へ御礼の電話を入れ、後日、依頼文書を発送することを伝えるので、保健部で具体的な計画を立てるよう指示を受けた。</p>
5月25日	5月定例分掌会議(保健部)	<p>◎略案を提案し、それをもとに実施要項について具体的に協議する。</p>
5月26日	講師との連絡調整	<p>◎日時、会場、内容、準備物等について確認する。</p>
5月28日	主任会議への提案	<p>◎開催要項(案)を作成し、主任会議に提案する。</p> <p>◇管理職の助言を受けて開催要項を完成させた。</p>
5月29日	校長への報告・連絡・相談	<p>◎開催要項を提出し研修会の周知について相談する。(校長から)</p> <p>◇6月の町校長会定例会で各校校長に周知する。</p>
6月15日	拡大校内研修会のPR	<p>◎町学校保健会保健主事部会で研修会をPRする。</p>
7月3日	保護者への研修会周知	<p>◎参観日の全体会で研修会の周知・PRする。</p>

7月10日	7月定例分掌会議	<p>◎研修会までの見通しと役割分担を提示する。</p> <p>◇研修会の資料は、講師と連絡をとりながら保健部で作成する。(担当：B養護教諭)</p> <p>◇当日の運営等は保健部が行う。(担当：C教諭)</p> <p>◇研修会のアンケートと実施後の評価資料については保健部で作成する。(担当：A保健主事)</p>
8月18日	拡大校内研修会の開催	<p>◎研修会の運営及びアンケートを実施する。</p>
<p>日 時 平成〇〇年8月18日(火) 14:00～</p> <p>場 所 〇〇病院会議室</p> <p>講 師 〇〇病院精神科 医師 〇〇 〇〇 氏</p> <p>テーマ 心の健康問題を抱える子どもへの対応 ～発達障害をふまえて～</p> <p>参加者 本校職員 12 保護者 10 施設職員 8 他校職員 7 計37名</p>		
8月25日	8月定例分掌会議	◎アンケートの分析及び成果等についての協議する。

3. 実践を終えて（9月上旬）

保健主事

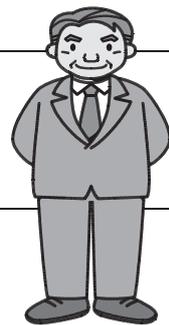
夏休みに実施した研修会のアンケートと保健部の反省がまとまりましたのでお持ちしました。おかげさまで、参加者からとてもよい評価をいただきました。



校長

おつかれさまでした。

この資料を見ると参加者にはかなり好評だったようです。園長先生や他校の校長先生からも御礼の電話が入っていました。特に、〇〇中学校の校長先生は、中学校区の全学校から参加者があったことを喜んでいました。



保健主事

ありがとうございます。

4月は不安だらけでしたが、保健主事の仕事が楽しくなってきました。これからも保健部のメンバーと協力して頑張りたいと思います。

教頭

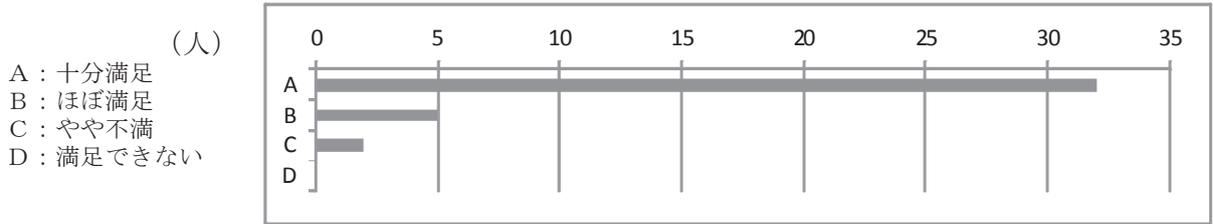
がんばりましたね。

2学期になってから先生方と子どもたちの表情がとてもよくなった気がします。研修の成果が、さっそく出ているのかも知れませんね。ミドルリーダーとしても頑張れましたね。



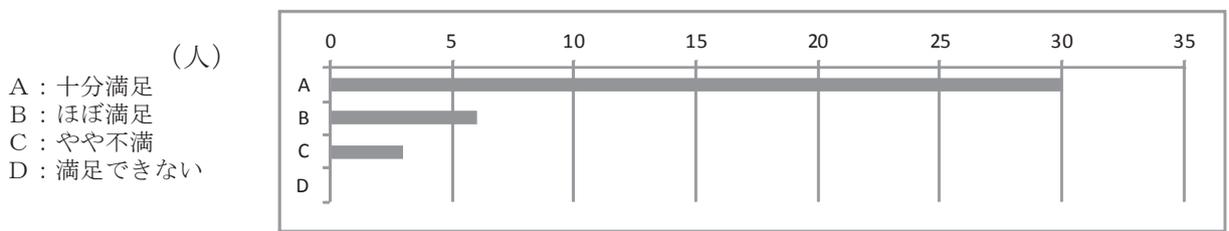
参考：研修会開催後のアンケートから

(1) 研修会の内容はどうでしたか



自由記述	
本校職員	<p>◇テーマは本校にとって喫緊の課題でした。次年度もぜひパートⅡを……。</p> <p>◇児童理解に基づく指導を考えていく上で、本校の児童も診ていただいている専門医のお話を聞くことができたことは大変意義のあることと感じました。</p> <p>◆講義の後に、事例研究をもてればさらに実践的な研修になったのでは……。</p>
保護者	<p>◇子どもたちのことを知っているようで、まったく知らなかったということを感じ知らされました。とてもいい勉強になりました。</p> <p>◇自分の子どもだけでなく、さまざまな問題を抱えているよその子どもにも温かく接してあげられるようになれそうな気がしました。</p>
施設職員	<p>◇充実した内容で、病院や学校と連携していく上で重要なヒントをいくつももらいました。参加できなかった職員にもしっかり内容を伝えたいと思います。</p> <p>◆担任の先生と園の担当職員がこれまで個別に行ってきたケース会議を発展させて、学校と園が合同で事例研究会をもてないでしょうか。</p>
他校職員	<p>◇児童相談所の嘱託医として多くの児童と関わってきた専門医のお話を聞くことができ、とてもよかったです。復命をしっかりしたいと思いました。</p> <p>◆自校の気になる子のことをイメージしながら聞かせていただきました。できれば、その子への指導上の配慮事項等について相談したかったです。</p>

(2) 開催時期、対象等について



自由記述	
本校職員	<p>◇全職員が参加し、ある程度の時間を確保するためには長期休業中に開催したことはとてもよかったですと思います。2学期に向けてやる気も出ました。</p> <p>◆転任してきたものとしては、できれば4月か5月に研修して、新年度早い段階から指導に生かせたらよかったですと思っています。</p>
保護者	<p>◇学校の先生と親しくお話する機会はあるものの、施設の先生と話す機会はあまりなかったのではとても有意義な時間を過ごすことができました。</p> <p>◆内容がよかったので多くの保護者に聞かせたいと思いました。次回は農作業の忙しくない時期に設定してもらえれば大変ありがたいです。</p>
施設職員	<p>◇研修会開催まで、何度も園に足を運んでくださった〇〇先生（保健主事）には大変感謝しています。これからもよろしくお願ひいたします。</p> <p>◇学校との距離が一段と縮まったように感じました。次回もお誘ひいただければ、今回留守番をしていた職員を参加させたいと思います。</p>
他校職員	<p>◇中学校の養護教諭です。小学校の先生や施設の先生方が子どもたちのために真剣に研修を積んでいることに感動しました。</p> <p>◇講師との連絡やバスの手配、さらには参集範囲が広いことなどで教頭先生や保健主事の〇〇先生は大変だったと思います。ありがとうございました。</p>

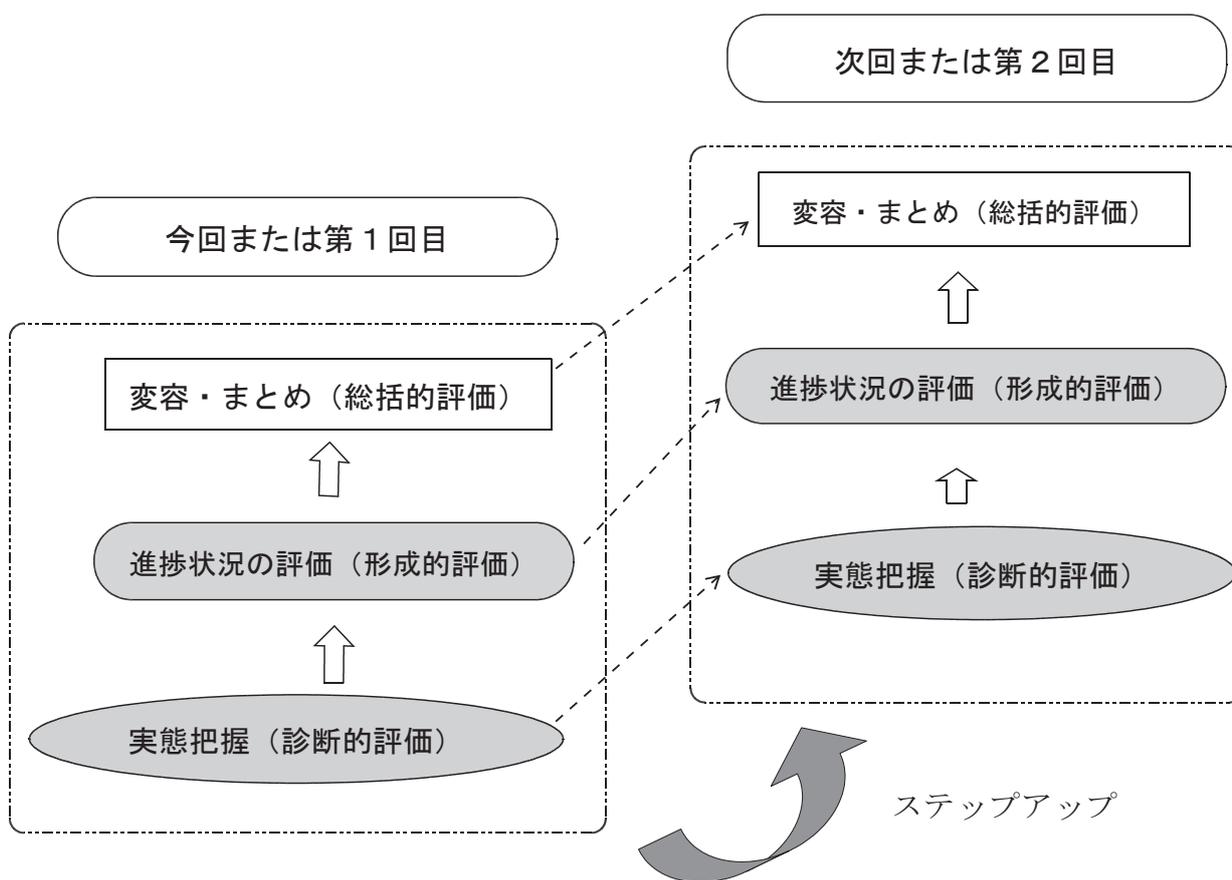
目標を達成させるための学校保健活動の評価（特別支援学校）

～歯科保健活動に重点を置いて取り組んだ事例～

1 事例の概要

本校（特別支援学校・聴覚障害）の学校保健目標には、聴覚障害児教育を行う上で重要な発音指導の充実を掲げており、保健部では発音にも深く関係する口腔衛生に力を入れている。しかし、毎年同じような内容で保健活動が繰り返されることが多く、本当に効果的かどうか客観的に評価や反省を行い進めたいと考えた。

今回、ここでは年2回の歯科検診と指導を中心とした活動に対して、「実態把握（診断的評価）」、「進捗状況の評価（形成的評価）」、「変容・まとめ（総括的評価）」を取り入れて保健活動の見直しを図り、さらに継続して評価していくことで、評価の充実と学校保健活動の一層の充実を図った取組を中心に紹介する。

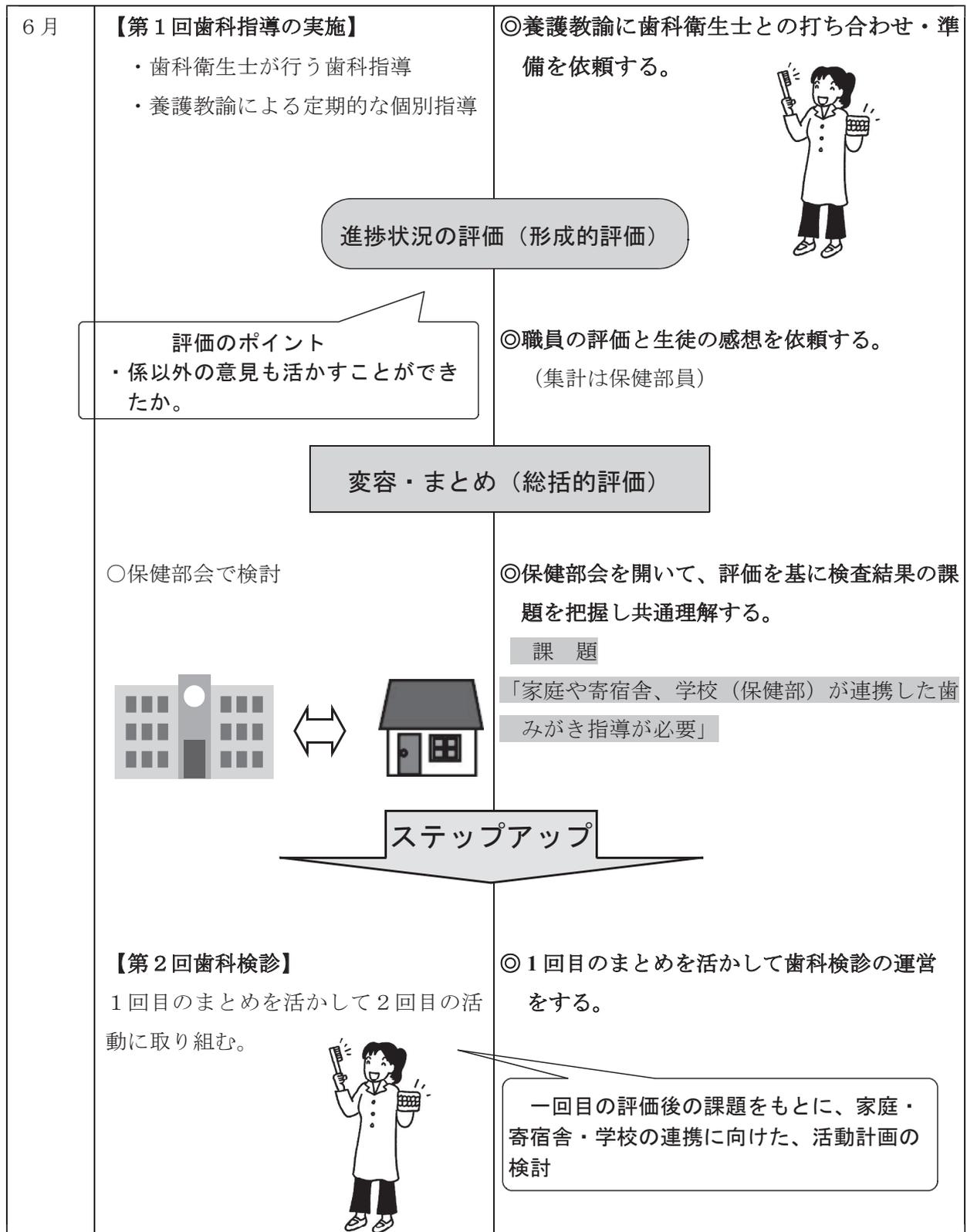


時系列的に評価活動を進める際は、計画作成の段階で行う「診断的評価」、実施段階に行う「形成的評価」、行事の終了やまとめの時期に行う「総括的評価」の順で実施する。[ハンドブック P.56](#)

さらに、本校では第1回目の歯科検診・指導を活かして、2回目（次年度）の実施に向けステップアップを図ることを目的として実施した。

2 実践内容

時期	校内のうごき	◎保健主事のうごき
4月 5月	<p>保健部会</p> <p>【第1回歯科検診】 検診結果（むし歯や歯肉炎の状況）の集約を行う。</p>  <p>◎保健部会で検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな課題があるのか？ ・どんな支援が必要（効果的）か？ <p>◎学校保健委員会で現状の報告</p> <p>◎報告書を基に家庭と教職員に報告</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>保健部会で第1回歯科指導に関する意見を集約</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>歯科指導の計画を立案するにあたっての事前調査を多角的に行い、企画・準備を行った。</p> </div>	<p>◎目標や方針を決定する。</p> <p>◎養護教諭にむし歯や歯肉炎の状況を一覧表にまとめるように担任に依頼し、留意事項を周知する。</p> <p style="text-align: center;">実態把握（診断的評価）</p> <p>◎保健部会を開いて、検査結果の考察や課題を検討し、解決策を考える。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>課題 「歯肉炎予備軍が多い」</p> </div> <p style="text-align: center;">↓</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・学校歯科医による専門的立場からの歯科指導の依頼。 ・1回目の歯科指導のポイントを検討 ・家庭や教職員への啓発 </div> <p>◎1回目の歯科指導（本校では歯科指導を年2予定している）のポイントを検討する。 （1回目の講師は歯科衛生士）</p>  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>『指導のポイント』</p> <p>歯肉炎の予防・改善を意識した歯みがきの指導</p> </div>



一般的に年1回のサイクルで取り組むものが多いので、「変容・まとめ（総括的評価）」の課題等は次年度の活動に活かしていくことになる。本校では年間2回のサイクルがあるが、ここでは1回目のサイクルを紹介し、2回目の取組に活かすまでを示した。

3 成果と課題

保健主事

◎広くいろいろな立場の人の意見を取り入れることで、よりニーズに合った活動ができるということを実感しました。一部の人が動くだけでなく、多くの人が意見を出すことで「参加している」という意識が持て、組織としての盛り上がりも感じることができました。

▲情報の共有の仕方については、まだまだ検討が必要です。



保健部員

○担任の先生方の意見を取り入れたことで、より実態に合った指導をすることができました。また、子どもたちの変容にもつながりました。



担任

○口腔衛生に重点を置いて指導したことで、「発音が明瞭になった子どもが増えてきた」と多くの関係者から聞かれます。口の中の健康は発音とつながっているのですね。



資料

○実態把握（診断的評価）について

診断的評価とは、その活動を行う前の様子を把握するということであり、今回の例でいえば歯科検診の結果（児童生徒の歯や歯肉の状態と歯みがきの様子）である。今回は結果を一覧表にまとめる形で行った。

○進捗状況の評価（形成的評価）の具体例			○変容・まとめ（総括的評価）の具体例		
A 大変良い B 良い C 悪い D 非常に悪い			A 大変良い B 良い C 悪い D 非常に悪い		
項目	評価の視点	反省・課題・提言	項目	評価の視点	反省・課題・提言
実態把握と情報の共有	・実態把握が適切にされ、保健部員をはじめ他の教職員が情報を共有できているか。	A B C D 実態把握は適切であり保健部員も情報の共有ができたが、その他の教職員には共有できていない部分があった。	基本的なとらえ方	・口腔衛生の重要性が認識され、学校全体としてその推進が図られていたか。	A B C D ・各部の部会等では共通理解を得たが、学校全体で重要性を認識させるためには、職員会議等での共通理解が必要であった。
目標の設定	・歯磨き指導を行う上での目標は、それぞれの実態や発達段階にふさわしいものであったか。 ・多角的な視野で目標を設定できているか。	A B C D	計画の中の位置づけ	・学校保健計画に位置づけられ、計画的に実施されていたか。	A B C D
組織活動に関すること	・保健部員またはその他の教職員の協力体制、家庭への働きかけ、学校歯科医との連携が図れているか。	A B C D 保健部員やその他の教職員へは協力体制が図れたが、この時点での家庭への働きかけが足りなかった。	事業の効果と変容	・今回の取り組みで、生徒の様子（生活習慣）に変容が見られたり、虫歯や歯肉炎の改善が見られたか。	A B C D
その他	・従来の方法だけでなく、実態にふさわしい特色ある取り組みを考えられたか。	A B C D	組織活動に関すること	・保健部員またはその他の教職員の協力体制、家庭への働きかけ、学校歯科医との連携が図れていたか。	A B C D ・保健部員だけでなく、担任など多くの教職員の意見を取り入れることができた。 ・家庭への働きかけを行い、協力も得られたが、その一方で更に今後も働きかけが必要な家庭もある。 ・学校歯科医と連携して学校保健委員会で問題提起をしたことで、保護者への啓発につながった。

学校保健活動の充実につなげる保健主事の自己評価（中学校） ～保健主事の実務を評価し学校保健活動の改善に取り組んだ事例～

1 状況の説明

昨年度から保健主事として任命され活動してきたが、一年間の学校保健活動を振り返り、次年度の活動に積み重ねていくことの大切さを感じていた。そのためには、学校保健活動の評価をしていくことが不可欠であるが、まずはその第一歩として、保健主事としての自らの実務を振り返ることが必要ではないかと考えた。

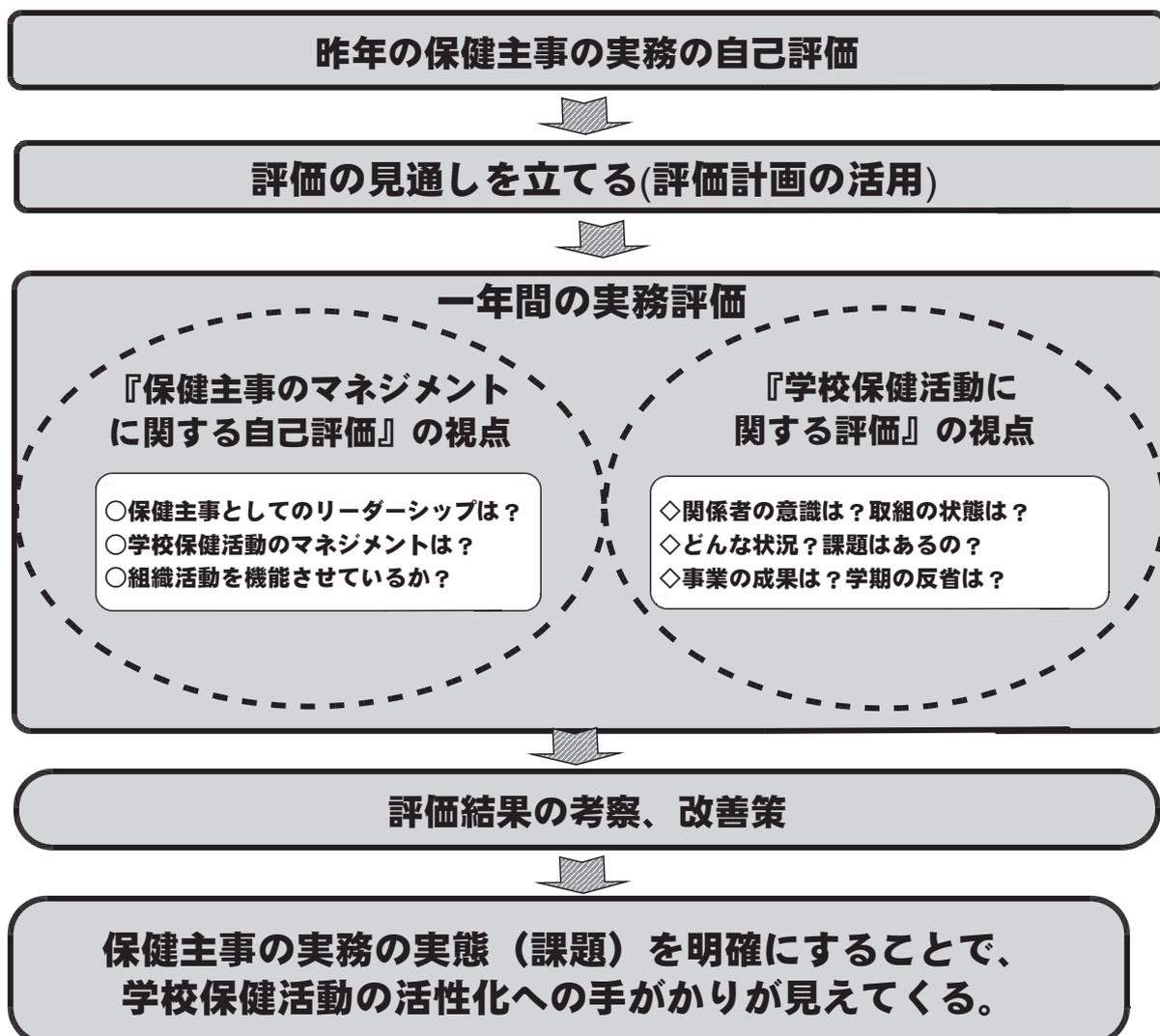
ここでは、保健主事の実務を評価し学校保健活動の改善を目指した実践を中心に紹介する。

2 保健主事の自己評価の手順と視点 ハンドブック P20-22

評価の手順としては、保健主事としてのこれまでの活動を自己評価して課題を明確にし、改善に向けた新たな目標を掲げて一年間の実務を検証していく。

評価の視点としては、『保健主事のマネジメントに関する評価』と『学校保健活動に関する評価』とに分けることでポイントを絞ることにつながる。ハンドブック P56-58

有効な評価とするには、目的等に応じて関係者に協力を依頼し、客観的な視点で評価してもらうことが重要である。



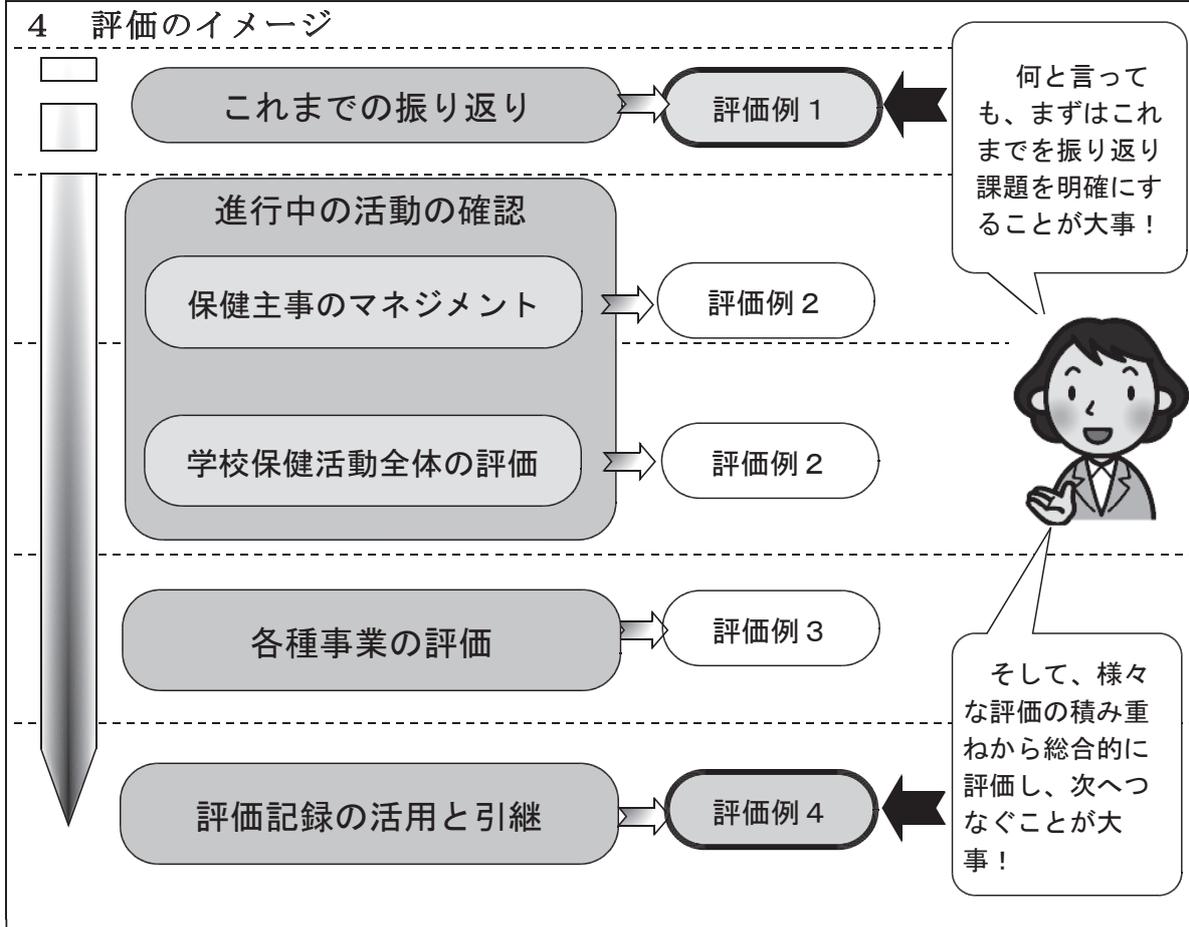
3 評価計画の作成と評価票の活用方法

効果的な評価とするには評価の見通しを持つことが大事であると考え、次のように進めた。まずは、(評価例1)を使ってこれまでの実務を振り返り、課題が見えたら(評価例2)の項目を設定し、保健主事の実務と学校保健活動の活動状況の両方を、関係者の協力を得ながら評価する。(評価例3)では、実施後なるべく速やかに感想や反省点を集約する。(評価例4)は次の活動に生かすことと、次年度へ引継ぐことを意識し様々な評価の積み重ねから総合的に評価する。

特に、(評価例1)と(評価例4)で行う評価は、その後の活動に生かす上でも重要と言える。

保健主事の実務評価計画

1 目標	生徒の健康状態や学校保健活動の推進状況、さらには保健主事（保健部）の実務を評価することで、本校の学校保健活動の充実を図り健康教育の一層の推進に役立てる。
2 評価内容	①学校保健活動に関する事項 ②保健主事（保健部）の実務に関する事項
3 評価の機会	○実態把握のための事前評価（年度当初） ○各事業評価（健康診断、健康に関する講演会、その他事業ごとに） ○定期評価 各学期末における教育課程評価、学校関係者評価等）



4 実務評価の流れ

時期	校内のうごき	◎保健主事のうごき ◇留意点
年度末 又は 年度初	○自己評価 ○ 評価例1 を活用	◎保健主事としてのこれまでの実務について自己評価を行い課題を明確にする。 ◇昨年度やこれまでの活動を振り返り自己点検する。 ◇保健部のメンバーや管理職等に評価の協力を依頼する。 ◇関係者の声なども参考にして課題を絞る。
4月	○保健部会	◎課題をもとに改善の目標を設定し、今後の評価の見通しを立てる。(資料1) ◇評価項目の設定は、資料等を参考にする。 ハンドブック P56-58 ◇保健主事のマネジメントに関する評価と学校保健活動の評価とを区別し評価項目を設定する。(資料1・2) ◇評価の進め方について管理職等に相談し助言を得る。
<p>* 学校保健活動を評価するには、学期ごとに行う教育課程の反省や学校関係者評価等に、学校保健に関する評価項目を設定することが重要です。管理職や評価担当者との連絡調整が保健主事の役割でもあります。</p>		
5月 ～	○職員会議 ○評価活動 (1)学期末 ○ 評価例2 を活用 (2)各種事業 ○ 評価例3 を活用	◎評価の趣旨や実施方法などを保健部のメンバーをはじめ全職員へ周知し協力を依頼する。 ◇評価用紙を配布するなど理解が得られるよう説明する。 ◇学校保健活動と、保健主事の実務評価の視点を説明する。 ◎学校保健活動の評価を確実にしながら、保健主事としての実務を評価していく。 ◇定期的に評価を実施し、記録を積み重ねていくことで課題の解決を図るとともに、次年度への引継の資料とする。 ◇教育課程の反省や学校関係者評価等に保健主事の実務を評価する項目を設定するのは難しいことから、保健部等の関係者に評価の協力を得る。 ◇事業そのものの評価と、準備や運営といった保健主事のマネジメントについて評価できるよう評価票を工夫し活用する。
2月 ～	○保健部会 ○評価のまとめと活用 ○ 評価例4 を活用	◎保健部のメンバーと協力し、評価結果から課題やその原因を明確にし、改善に向けた方策等について協議する。 ◇結果を公表し、関係者の声を引き出しながら改善についての意識を高める。 ◇評価結果を必ず生かすよう記録や引継の準備を行う。

5 成果と課題

◎自己評価を行ったことで、保健主事としての役割や責任を再認識できた。また学校保健活動の課題も見えてきた。

▲評価項目の設定にあたって保健部で協議したことで、様々な視点確認したが、適切な内容であったかはさらに検討が必要。

○事業ごとに評価に協力してもらったことで、職員にも保健活動に対する関心が高まったように思います。

▲保健主事として関係者への働きかけが不十分であったことが分かりました。

○課題を明確にしたことで、活動の目標や方針が定まり有意義な実践ができた。

▲評価の結果を記録し、まとめたが、その効果的な活用の仕方については今後検討したい。



(資料1) 学校保健活動のマネジメントに関する評価の視点

学校保健活動	診断的評価 (事前評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者の意識はどうか？ ・取組の状態はどの程度か？
	形成的評価 (事中評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような状況か？ ・どのような課題があるのか？
	総括的評価 (事後評価)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果や課題は？ ・学期や学年としての反省はどうか？

(資料2) 保健主事のマネジメントに関する評価の視点

保健主事のマネジメント	保健主事とリーダーシップ	<ul style="list-style-type: none"> ・組織が活性化するように働きかけたか？ ・保健主事として目標指向と集団維持機能を使い分けたか？ ・うまくいった働きかけはあったか？どんな働きかけか？ ・うまくいかなかった場面はあったか？どんなことか？
	学校保健活動のマネジメント	<ul style="list-style-type: none"> ・実務をこなす環境や組織を整えたか？ ・学校経営方針を踏まえていたか？ ・各行事で組織を機能させたか？ ・担当者、施設・用具、経費、情報の準備は適切であったか？ ・教職員及び児童生徒の満足度に働きかけたか？
	保健主事と組織	<ul style="list-style-type: none"> ・組織が動くように働きかけたか？ ・管理職との連絡・調整は適切であったか？ ・各係との連絡・調整は適切であったか？

評価例1

保健主事のマネジメントに関する評価（**自己評価**・協力者評価）

評価：◎できている ○ややできている △ややできていない ×できていない

	NO	評価項目	評価	
			4月	3月
○事前調査・準備	1	保健部で分担して情報の収集や整理にあたるよう指示したか	×	○
	2	前任者や関係者の引継事項を活かそうとしているか	△	◎
	3	組織体制を見直し機能させようとしているか	△	○
○学校保健に関する目標の設定と計画作成	4	課題を明確にとらえようとしているか	×	○
	5	教育目標との関連を図ろうとしているか	△	○
	6	管理職との連絡や相談をしているか	△	○
	7	関係者の声を活かそうとしているか	○	◎
○学校保健活動の運営	8	人材、財源など経営資源について考慮しているか	×	○
	9	計画に基づいて活動するようにしているか	△	○
	10	組織的に機能するようはたらきかけているか	△	○
	11	管理職、職員との連絡・調整に努めているか	○	◎
○学校保健活動の点検・評価	12	活動の広がりや深まりに努めているか	×	△
	13	組織的に評価を行うようはたらきかけているか	×	○
	14	評価方法や評価規準などを見直したり、わかりやすい評価の実施に努めているか	×	△
	15	目標への到達の度合いを客観的に捉えようとしているか	△	○
○学校保健活動のフィードバックや改善	16	保健計画との比較をしようとしているか	○	◎
	17	学校保健活動全体と保健主事としての実務の評価の結果を活かそうとしているか	×	○
	18	次年度への引継ぎを確実に行おうとしているか	○	○
	19	保健主事として次年度の活動へ向けて目標や意欲を持ち、つなげようとしているか	△	○

評価例2 保健主事のマネジメントと学校保健活動の評価例参考：ハンドブック P57

NO.5～14は、保健部や保健主事に対する評価です。記入できる箇所はご記入ください。

- A できている・・・・・・ 目標に到達している、または十分に満足できる状況にある
- B やできている・・・・・・ 到達度または満足度が80%程度に達している
- C やできていない・・・・・・ 到達度または満足度が50%程度に達している
- D できていない・・・・・・ 到達度または満足度が50%に満たない

NO	評価項目	前年度	一学期末	二学期末	三学期末	気づいたこと
1	学校職員と生徒は保健活動に満足しているか	B	B	A	A	管理職と保健部の意識向上が見られた。
2	保健児童生徒の健康の保持増進につながっているか	B	B	A	A	保健部内での分担によりメンバーの意識が高まっている。
3	活動目標は達成できているか	C	B	B	B	学校保健委員会の内容が回を重ねるごとに充実してきている。
4	全体学校保健活動の活動の状態（活性化の程度）は高まっているか	B	B	A	A	管理職と保健部の意識向上が見られた。
5	マネ保健主事として実務をこなすための組織体制は整っているか	B	B	B	A	昨年は形式的な組織であったが徐々に機能してきている。
6	ジメ学校経営方針を踏まえているか	B	B	B	B	目標や計画設定では意識していたが運営にはばかり集中してしまった。
7	ン各行事等の運営で組織を機能させているか	B	B	A	A	保健部のメンバーと協力できたことで改善が見られた。
8	担当者、施設・用具、経費、情報の準備を適切に行っているか	B	B	B	B	保健部で分担した活動はできた。特に情報の収集は改善が図られた。
9	組織組織が動くようにはたらきかけたか	C	B	B	A	前半は自分が動きすぎ、全体を機能できなかったが後半は改善された。
10	活動管理職との連絡・調整は適切か	B	B	A	B	管理職の助言が活動に活かされた。
11	各係との連絡・調整を適切に行っているか	B	A	B	A	次年度への引き継ぎでは各係りとの連絡が不十分だった。
12	リ目標志向と集団維持機能を使い分けられているか	B	B	B	B	次年度の重点目標にしたがい。
13	ダーうまくいったはたらきかけあるか	B	B	A	A	保健部内での分担によりメンバーの意識が高まっている。
14	シはたらきかけに対して得られた成果はあるか	C	B	B	B	保健部で分担して学校保健委員会をすすめたところ、回を重ねるごとに内容が充実してきている。
15	その他、特記事項 ・職員会議や放送で保健主事からの具体的な指示や説明があったことで、職員や生徒への情報や指示が行き届いたと思います。 ・職員一人一人の意識の向上につなげるための働きかけが不十分だった。					

評価者 (養護教諭)

評価例3 学校保健活動の事業評価例

平成〇〇年度〔 熱中症の予防に関する講演会 〕 についての評価票

係名 (1年2組担任)

	A 良い	B やや良い	C やや悪い	D 悪い
NO	質問内容		評価	反省内容・ご意見
1	ねらいに適したテーマと内容であったか?		A	昨年度の猛暑を考えると事前にこのようなテーマで学習することは大切。
2	生徒にとって効果が得られるものであったか?		A	水分の採り方や帽子の着用など参考になったと思う。
3	生徒にとって満足の得られる内容であったか?		B	映像を多く用いて説明されるとさらに分かりやすいと思う。
4	実施時期・時間は適切か?		A	よい時期であった。
5	企画・運営は適切であったか?		B	進行を生徒会に任せるとさらに意識は高まるのではないか。
6	事業により期待される効果は?		B	知識としては身につけているが実践力を育むには継続した指導が必要。
7	保健部、保健主事への要望等 ・有意義な内容であり、保護者にも周知参加してもらったり、資料を配付するなど共通実践ができるよう手立てがほしい。 ・感想や質問の時間を設定してもらえるとよかった。			

平成〇〇年度〔 健康診断 〕 についての評価票

係名 (教務主任)

	A 良い	B やや良い	C やや悪い	D 悪い
NO	質問内容		評価	反省内容・ご意見
1	ねらいに適したテーマと内容であったか?			/
2	生徒にとって効果が得られるものであったか?			
3	生徒にとって満足の得られる内容であったか?			
4	実施時期・時間は適切か?		B	
5	企画・運営は適切であったか?		A	実施要項を生徒にも配付したことで、係として働きやすかった。
6	事業により期待される効果は?		C	測定結果の仕方を保健部で検討し、各学年や学級で有効活用させてほしい。
7	保健部、保健主事への要望等 ・測定箇所に表示項目の表示をする、1年生などは動きやすいと思う。 ・測定の仕方について資料を配付するだけでなく、事前に一度は測定器具の扱い方など説明があるとありがたい。			

評価例 4 評価の記録と引継票

重要度：▲最重要課題 △重要 ○改善へ向け進行中

課 題		現 状	次年度へ向けて
学校 保健 活動	保護者の意識 高揚	学校関係者評価に保健 に関する項目がない。 健康課題について記載された 保健より等がよく読まれてい ない。	▲学校関係者評価に保健の項目を入れるよう 管理職に依頼する。 ○現状について学校保健委員会に問題提 起し、PTA主催事業等で保健に関して 取り上げてもらうようはたらきかける。
	学級間の温度 差を無くす	担任や学年の教師に課題 意識の差がある。	△職員研修に、保健に関する内容を取り 上げ、知識や意識を高めるようはたらきか ける。
保健 主事 の 実 務	学校保健計 画の有効活用	年度初めの職員会議で目 にあるが、それ以外は計画が活 用されていない。よって、保健活 動が機能していない。	△職員室や保健室などに、保健計画や目標 を掲示したり、職員会議や打ち合せにお いて定期的に情報を発信する。
	保健活動のマ ネリ化	毎年同じ内容の講話や事 業が行われており、保健への 意識が高まらない。	○PTAや生徒会担当者と協議し、保護者 や生徒と一緒に関わることでできる連携した 事業の実施を検討する。

保健主事

「自己目標管理」のころ

一般的に、人々が物事を推し進める場合には、目標を設定し、そのゴールを目指します。また、暗黙のうちに、そのゴールに向かうための合理的な方法を模索し、選択をして行動します。特にマネジメントの分野では、その目標を中心にして、行動を展開するために、「目標管理」や「自己目標管理」などの用語が用いられています。「もしドラ」の元祖とされた、ピーター・ドラッカーの”management by objectives and self-control” などが相当します。

マネジメントを推し進めるためには、目標に向けた安全で合理的な展開につながる方法も必要となります。また、仕事全体の一連の流れを含めた把握や理解が重要になります。その際には、あくまでも目標が前提であり、その目標が基準であり、その目標に対して結果がどのようになったかを、常に省みて、次のステップに進むことが原則となります。

しかしながら、前提となるその目標が、他人（上司など）から与えられた場合と、自ら真摯に設定した場合とでは、同じことばとしての「目標管理」であっても、大きな隔たりが感じられましょう。他者から与えられた目標は、他者からの評価に適合しますが、必ずしも自己の評価と同じではない場合があります。

その部分を強く意識して、ドラッカーは「セルフコントロール」ということばを加えており、本気で実行する自己点検評価の重要性を主張しています。つまり、目標に向かう確実な前進や好ましい成果のためには、自分の目標とその取組や活動に対する、自らのセルフコントロールが基本であり、最も重要であるということを示しています。

この事例のように「保健主事の自己評価」に着目した事例は、目下のところ、あまり多くはみられません。今後はそのような「自己目標管理」のころを十分に反映した、特色ある実践や取組が期待されています。

本書は、文部科学省補助金（健康教育振興事業費）により、下記の財団法人日本学校保健会に設置した「保健主事実践事例集作成委員会」で作成したものである。

『保健主事実践事例集作成委員会名簿（平成22年度～23年度）』

○委員長 畑 攻 日本女子体育大学スポーツ健康学科 教授

○副委員長 今関 豊一 順天堂大学スポーツ健康科学部 准教授

委員 上原 美子 川口市立川口総合高等学校 養護教諭

委員 大島 由子 塩谷町立玉生小学校 養護教諭

委員 国吉 恵一 千葉県立浦安南高等学校 教諭

委員 小林 桂子 群馬県立豊学校 教諭

委員 高橋 伸明 福島県教育庁会津教育事務所学校教育課 指導主事

委員 原 真紀 青森県教育庁西北教育事務所教育課 主任指導主事

委員 柳沢 和雄 筑波大学大学院人間総合科学研究科 教授

委員 山田 知利 群馬県教育委員会スポーツ健康課 指導主事

なお、本書の作成にあたり、

森 良一 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課教科調査官

のほか、下記の方々に、多大な援助とご助言をいただきました。

有賀 玲子 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課学校保健対策専門官

岩崎 信子 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育調査官

北垣 邦彦 文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課健康教育調査官

一保健主事実践事例集一
保健主事のためのマネジメント事例集

初版 平成24年 3月23日

発行者

財団法人 日本学校保健会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-3-17

虎ノ門 2丁目タワー 6階

☎03 (3501) 3785・0968

印刷所

株式会社 サンワ

<http://www.sanwa-s.com>
